

# ソフトウェア操作ガイド

(Windows 98インストール)

●アプリケーションを利用する

●便利な機能を利用する

●添付アプリケーションの削除と追加

●Windows 98と添付アプリケーションの 再セットアップ

●他のOSを利用する







(1)本書の内容の一部または全部を、無断で他に転載することは禁止されています。

ら、ご連絡ください。

ご注意

∕≜警告 本機に添付のCD-ROMは、CD-ROM対応プレーヤ以外では 絶対に使用しないでください。 大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカを破損する恐れがあります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windowsロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の 国における登録商標です。

(3)本書の内容は、万全を期して作成しております。万一、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありました

・ 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® 98および本機に添付のCD-ROM、フ

(4) 運用した結果の影響については、(3) 項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。

TGU19682はTrident Microsystems, Inc.の商標です。

(2)本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

ロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。

Photo CD portions copyright Eastman Kodak Company 1995

pcANYWHERE32はSymantec Corporationの米国における登録商標です。

安全にお使いいただくために

その他の会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 1998

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

A N 8 7 1 A 808-882706-015-A



本機には、さまざまなアプリケーションが添付されており、購入したその日から使いはじめることができるようになっています。

本書では、それらのアプリケーションの紹介と基本的な使い方について説明しています。

さらに、本機添付の「アプリケーションCD-ROM / バックアップCD-ROM(OSを除く)」や「バックアップCD-ROM(OSを除く)用イン ストールディスク」を使って、Windows 98のシステムと添付アプリ ケーションを復元する手順を説明しています。

また、他の0Sを利用するためのアップグレードや注意事項についても説明しています。

・対象機種

このマニュアルは、次の機種を対象にしています。

•PC-9821Ra266/M30R

•PC-9821Xa200/M30R

#### 1998年 7月 初版

このマニュアルの構成

このマニュアルは次の内容で構成されています。





#### Windows 98と 添付アプリケーションの再セットアップ

Windows 98のシステムと添付アプリケーションの復元方法 について、本機添付の「アプリケーションCD-ROM / バック アップCD-ROM(OSを除く)」や「バックアップCD-ROM (OSを除く)用インストールディスク」を使って、ご購入時の状 態に戻す手順を説明しています。また、独自に本機のハードデ ィスク内のシステムやアプリケーションの環境を設定したい方 もご覧ください。

なお、このマニュアルでは、本機のハードディスクの内容をご購入時の状態に戻すことを「再セットアップする」またば、再インストールする」といいます。



#### 他の0Sを利用する

Windowsの知識をもっているユーザの方を対象に、別売の Windows NT 4.0を本機で利用するための必要な知識や注 意事項について説明しています。



付録

固定ディスク起動メニューやFAT32ファイルシステムを利用 する際の必要事項について説明しています。

#### ソフトウェアの最新情報のお知らせ

製品の最新情報、ソフトウェアのアップデートサービスの情報、ソフトウェアの強化・修正 情報、モジュールの入手情報を、FAXサービス、パソコン通信、インターネットでご案内 しております。

- ・NECパソコン情報FAXサービス
  - FAX 東京:(03)3769-9821 大阪:(06)304-9821
- ・パソコン通信 PC-VAN NECパソコン情報 (J NECPC) NIFTY SERVE NEC Information Center Forum (GO FNECINFO)

・インターネット

98 Information URL http://www.nec.co.jp/98/

# このマニュアルの表記について

このマニュアルで使用している記号には、次のような意味があります。

	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明していま す。場合によっては、本機が故障したり、本機で使用しているソフ トウェアや、お客様が作成されたデータが壊れたりする可能性もあ ります。
	参考にしていただきたいことを説明しています。
۲.	参照ページを表しています。

このマニュアルで使用している表記には、次のような意味があります。

Windows	Windows 98を指します。
Windows NT	別売のWindows NT 4.0を指します。
MS-DOS	別売のMS-DOS® 全般を指します。
	特に必要な場合は、バージョン名を記載します。
MS-DOSモード	Windows 98のMS-DOSプロンプトの状態を指します。
[スタート」ボタン	[スタート」ボタンをクリックし、現れたポップアップメニューから[設
[設定]	定を選択し、横に現れるサブメニューから[コントロールパネルを
	選択する操作を指します。
[XXX]	[ ]で囲んである文字は、画面に表示されるダイアログボックス、
	ボタンなどの名前を表しています。 例 : [ OK )ボタン
ESC +-	キーボードのキーは、枠で囲んで表記しています。
ГХХХ д	『 』で囲んである文字は、画面に表示されるマニュアルの名称、メ
	ッセージなどを表しています。( 例:『ステップアップガイド』)
バックアップ	「アプリケーションCD - ROM / バックアップCD - ROM( OSを除
CD-ROM	く)を指しています。
インストールディスク	「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク」を指
	しています。

MS-DOSモードで使用できるコマンドのコマンド書式の記号には、次のような意味があります。

< >	この中の項目は、必ず入力します。
[]	この中の項目は、必要に応じて入力します。
	この記号で区切られた項目のうち、どれか一つを入力します。

記載されているアプリケーションなどの製品の正式名称は、以下のとおりです。

本文中の表記	正式名称
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 operating system日本語版
Windows NT 4.0	$\mathtt{Microsoft}_{\circledast}$ Windows $\mathtt{NT}_{\circledast}$ Workstation Operating
	System Version 4.0およびMicrosoft® Windows NT®
	Server Network Operating System Version 4.0

このマニュアルに記載の画面は、実際の画面とは異なる場合があります。

本文中で使われている用語で、わからない用語が出てきた場合は、『ステップアップガイド』の付録の「パソコン用語集」または、『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』、Windows 98の ヘルプの中にあるオンライン形式の「Microsoft』 Windows』 98 ファーストステップガイド」の「用語 集 をご覧ください。



注意	
じめに iii	
のマニュアルの構成iv	
のマニュアルの表記についてvii	
次(このページです)ix	



### Part1 アプリケーションを利用する

オーディオCD/ビデオCD/フォトCDを再生する~98プレーヤ2
CDを再生する3
オーディオCDを聴く4
ビデオCD( カラオケCD )を見る6
オーディオCD/ビデオCDの再生順序を指定する
フォトCDを見る10
MPEG動画を再生する12
NEC Soft MPEG1.0に関する注意事項13
98Timerを使う14
コンピュータウイルスに備える~VirusScan19
スキャンワクチンを使ってウイルスを検査する
ウイルスを除去する 21
エマージェンシーディスクを作成する
大切なデータを保存する~Masty Data Backup23
データのバックアップ
バックアップデータのリストア
本機のハードウェア、ソフトウェア情報を管理する~DMITOOL 28
他のパソコンからのリモートコントロールを受ける
~pcANYWHERE32 EX 40

便利な機能を利用する

Part2

• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •
英語モードフォントを使用する44
DOS APインストーラ
MS-DOSアプリケーションをインストールして
ショートカットを作成する
MS-DOSアプリケーションのショートカットを作成する52
DOS APインストーラの注意事項53
手作業によるアプリケーションの登録54
アプリケーションを利用する際の注意
海外ゲーム対応ユーティリティ58



アプリケーションを削除する60
コントロールパネルを使って削除する61
アンインストール機能を使って削除する
アプリケーションを追加する68

Part4 Windows 98と添付アプリケーショ ンの再セットアップ
再セットアップする前に
Part5 他のOSを利用する
Windows NT 4.0を利用する108 Windows NT 4.0の利用108
付録 固定ディスク起動メニューの利用

# アプリケーションを利用する

Part 1

本機のマルチメディア機能や、管理・保守機能などを利用する手順や注意事項につ いて説明します。 なお、これらのアプリケーション(98Timerを除くは、工場出荷時には本機にインスト ールされていません。お使いになる場合は、「Part3 添付アプリケーションの削除と追 加」の「アプリケーションを追加する( (アP.68)の手順を参照してインストールしてく ださい。 オーディオCD/ビデオCD/フォトCDを再生する~98プレーヤ MPEG 動画 を 再 牛 する 98Timerを使う コンピュータウイルスに備える~VirusScan 大切なデータを保存する~Masty Data Backup 本機のハードウェア、ソフトウェア情報を管理する~DMITOOL 他のパソコンからのリモートコントロールを受ける ~ pcANYWHERE32 EX

# オーディオCD/ビデオCD/フォト CDを再生する~98プレーヤ

オーディオCD、ビデオCD(カラオケCD)やフォトCDに対応した再生用のアプリケーションが起動します。



- ・ 98プレーヤは工場出荷時には本機にインストールされていません。 98プレーヤのインストール方法については「Part 3 添付アプリケーションの削除と追加」の「アプリケーションを追加する」をご覧ください。
- 98プレーヤでMPEG1のファイルやVideoCDのファイルを再生する場合は、NEC Soft MPEG 1.0が必要です。
   NEC Soft MPEG 1.0のインストール方法については、「Part 3 添付アプリケーションの削除と追加」の「アプリケーションを追加する」をご覧ください。
- 「スタート ボタン [設定] [コントロールパネル JOI アプリケーションの 追加と削除 JでCDプレーヤ(または98プレーヤ を削除または追加すると、 音楽CDをセットしても98プレーヤ(またはCDプレーヤ)は自動起動しませ ん。音楽CDをセットして98プレーヤ(またはCDプレーヤ)を自動起動させ る場合は、CDプレーヤ、98プレーヤの順でCDプレーヤを追加してくださ い。



98プレーヤ終了後、再度起動させるときは、[スタート jボタン [プログラム] [アクセサリ][エンターテイメント][98プレーヤ(CDプレーヤ)]をクリ ックします。

CDの規格

98プレーヤが対応しているCDの規格は次のとおりです。規格外のCDは再生できない場合があります。

- ・オーディオCD
- ・ビデオCD(Ver1.1)/カラオケCD(Ver1.1)
- ・ビデオCD(Ver2.0)
- ・フォトCD
- ・フォトCDポートフォリオ

CDを再生する.....

オーディオCDの場合、CDをCD-ROMドライブにセットすると、自動的に98プレーヤが 起動し、次のような画面が表示されます。自動的に起動しない場合およびビデオCD (カラオケCD)フォトCDの場合は、CDをCD-ROMドライブにセットして、[スタート ボ タン [プログラム][アクセサリ][エンターテイメント][98プレーヤ(CDプレー ヤ) をクリックすると98プレーヤが起動します。

#### オーディオCDの場合

総トラック数と総演奏時間が表示されています。 ボタンの操作方法については、後述する「オーディオCDを聴くをご覧ください。

🗊 98 Player					_ [	X
Audio (►··•1)	Track		Total Time	min	Sec	Option
		I <b>4</b> 4	<b>I</b> <	ÞI Þ	ÞI 🔺	•

ビデオCD(カラオケCD)の場合

総トラック数が表示されます。

ボタンの操作方法については、後述の「ビデオCD( カラオケCD )を見る」をご覧くださ い。



プレイバックコントロール機能付きのビデオCDの場合は、プレイバックコント ロールウィンドウも表示されます。詳しくは、「ビデオCD(カラオケCD)を見る」 をご覧ください。

#### フォトCDの場合

1枚目の写真が表示されます。

ボタンの操作方法については、「フォトCDを見る」をご覧ください。

😴 98 Player		- 🗆 ×
Photo	Size PictureHo.	Option

### オーディオCDを聴く.....

オーディオCD再生時のボタン操作について説明します。 [ Option をクリックすると、98 プレーヤの下に、拡張ボタンが表示されます。

💇 98 Player						_ 🗆 X
			NEC			
Audio ()	Trac	k 🚺 🚺	Total Tim	ie mir	: 1	sec Option
		<b>I</b> ⊲⊲	I	ÞI	ÞÞI	
പ	9	Progra	am 🕨		(⊁	4)
元の画像サ	イズで表示	カラ	オケー覧表	标】状	態設定	Help

基本的な使い方

- ・ 再生 / 一時停止
  - [▶ ボタン ・ クリックすると、再生が始まります([ || ]こ変わる )。
  - [ || ボタン ・ クリックすると、一時停止します([ ▶ ]こ変わる)。 再度 ▶ をクリックすると、一時停止した場所から再生しま す。
  - オーディオCDを再生中に、[スタート 」ボタン [設定] [コントロールパネル] [マルチメディア ]の[ 音楽CD ]タブで[ 音楽CDの音量 を変更した場合、その 変更が有効になるのは、次回の起動時からです。
- ・停止
  - [■ 」ボタン・クリックすると再生を停止、または一時停止状態を解除します。

[■ ボタンで停止させた後 ▶ をクリックすると先頭の曲に戻って再生を始めます。

- ・ 巻き戻し / 早送り
  - [ ◄ ] ボタン・ 再生中、または一時停止中にクリックし続けると巻き戻し、ボ タンを離すと再生します。
  - [▶▶] ボタン・再生中、または一時停止中にクリックし続けると早送り、ボタンを離すと再生します。



画面の時間表示が変化します。ボタンを離すとそのとき表示されている時間から再生を開始します。

- ・曲の頭出し
  - [◄ ]ボタン・再生中、または一時停止中にクリックすると、再生中の曲の 先頭に戻って再生します。
    - ・ 再生中、または一時停止中に連続してクリックすると、一曲ず つ再生する曲番号が戻ります。
    - ・ 停止中に連続してクリックすると、クリックした数だけ戻って再 生します。
  - [▶] ボタン・再生中、または一時停止中にクリックすると、再生中の次の 曲から再生します。
    - ・再生中、または一時停止中に連続してクリックすると、一曲ず つ曲番号が先に進んで再生します。
- ・ CD-ROMトレイのイジェクト
  - [▲]ボタン・停止中にクリックするとトレイがイジェクトされます。



- ・ 別売のCD-ROMドライブを使用する場合、イジェクト機能はご利用できな い場合があります。
- CD-ROMドライブにCD-ROMをセットしていない状態では、[▲]ボタンを クリックしてもCD-ROMドライブのトレイは出てきません。トレイを出すに は、CD-ROMドライブのディスクトレイイジェクトボタンを押すか、[マイコ ンピュータ をダブルクリックして起動し、お使いのCD-ROMドライブを右 クリックして[取り出し]をクリックしてください。
- ・98プレーヤの終了

▼をクリックすると、98プレーヤを終了します。

#### [Option ボタンの使い方

- リピート[ c> 」がタン
   クリックするたびに、リピート再生モードが1曲のみ、全曲へと切り替わり、インジケータが表示されます。
- 演奏時間表示切り替え[①」ボタン クリックするたびに、表示ディスプレイ部分の時間表示が、現在のトラック内の演奏経過時間か残り演奏時間に切り替わります。
- 「Program ボタン 再生順序を指定できます。詳しくは、「オーディオCD / ビデオCDの再生順序を指 定する」をご覧ください。
- ・ミュート[▶▲]ボタン
   左右の音声出力を同時に0FFします。音声出力が左右とも0FFの場合に、このボタンをクリックすると、左右同時に0Nになります。
   ただし、CDの再生中は使用できません。

アプリケーションを利用する

- ・音声チャンネル[●【●】ボタン
   [●」ボタンは、左チャンネル、[●」ボタンは右チャンネルの音声出力のON/OFF
   を切り替えます。
   ただし、CD再生中は使用できません。
- ・ [ 状態設定 ボタン [ 自動再生 チェックボックスを選択すると、98プレーヤの起動時に自動的に再生 が始まります。



### ビデオCD(カラオケCD)を見る.....

ビデオCD再生時のボタン操作について説明します。 [ Option をクリックすると、98プレーヤの下に、拡張ボタンが表示されます。



#### 基本的な使い方

基本的な操作は、オーディオCDとほとんど同じです。 前述の「オーディオCDを聴く」の「 基本的な使い方」をご覧ください。



・ビデオCDの再生中にウィンドウサイズをひんぱんに変更すると、ビデオの 表示が乱れることがあります。このようなときは、98プレーヤをいったん終了 させて再起動すると、表示が正常に戻ります。

・プレイバックコントロール機能に対応したビデオCDの再生時には、頭出し 機能は利用できません。

#### [Option ボタンの使い方

- ・リピート[○」ボタン
   クリックするたびに、リピート再生モードが1プログラムのみから全プログラムへと
   交互に切り替わり、インジケータが表示されます。
- 「Program ボタン 再生順序を指定できます。詳しくは「オーディオCD/ビデオCDの再生順序を指 定する をご覧ください。
- ・ ミュート[▶■ ボタン 左右の音声出力を同時に0FFします。音声出力が左右とも0FFの場合に、この ボタンをクリックすると、左右同時に0Nになります。
- ・ 音声チャンネル[● [● 」ボタン
   [● 」ボタンは、左チャンネル、[● 」ボタンは右チャンネルの音声出力のON/OFF
   を切り替えます。

カラオケCDでは、カラオケ演奏とボーカル音声は、左右どちらかのチャンネル に分かれて録音されています。ボーカル音声を消すときは、左右どちらか、ボー カル音声が録音されているチャンネルの音声を消す必要があります。左右ど ちらかの音声を消すときは、[ゆ または ゆ をクリックします。また、[ レベ をクリ ックすると、両方の音声を消すことができます。

- ・[元の画像サイズで表示 ボタン ビデオCDの再生時に、ウィンドウのサイズを起動時のサイズに戻します。
- ・[カラオケー覧表示 ボタン カラオケCDの曲目が一覧表示されます。再生した曲目をクリックし、さらに[演奏」ボタンをクリックすると、すぐに再生が始まります。
- ・ [状態設定 jボタン
   [自動再生 チェックボックスを選択すると、98プレーヤの起動時に自動的に再生が始まります。
   [画像再生時にスクリーンセーバを起動しない チェックボックスを選択すると、ビデオCDの再生時にスクリーンセーバを起動させないようにします。



- ・[演奏時間表示切り替え」ボタンは、利用できません。
- ・ プレイバックコントロール機能を用いて独自のメニュー表示を行っているカ ラオケCDでは、[カラオケー覧表示」ボタン、[リピート」ボタン、および [Program」ボタンは利用できません。

アプリケーションを利用する

### プレイバックコントロールの使い方

プレイバックコントロール機能付きのビデオCDの再生時には、98プレーヤとともにプレイバックコントロールウィンドウが表示されます。



- ・
   ・
   ・
   ・
   ボタン
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・</<

- ・ 「」「」ボタン
   メニュー画面に戻ります。
- ・ 1 回ボタン 数値を選択するときに使います。
   1 - 回の数字ボタンで番号を決定して
   ご ボタンをクリックすると、画面を表示します。
- ・ 」ボタン
   プレイバックコントロールウィンドウをアイコン化します。
- ・  **● ●** 番号表示部分をクリックすると、数字ボタンで選択された番号をキャンセルしま す。



各ボタンの機能は、CD-ROMにより多少異なっていますので、CD-ROM添付の説明書を参照してください。

### ビデオCD(カラオケCD)を再生する場合のご注意

本機には、ビデオCDなどの動画データを再生するためのソフトウェアが標準添付されて いますが、98プレーヤやメディアプレーヤーなどで動画データを再生中に、他のソフトウ ェアを実行させることなどにより、音飛びや画面の乱れが発生する場合があります。

### オーディオCD/ビデオCDの再生順序を指定する••••

- 98プレーヤの[ 0ption ボタンをクリック 98プレーヤの下に拡張ボタンが表示されます。
- 2 [Program ボタンをクリック [プログラム予約 びイアログボックスが表示されます。

プログラム予約			×
ディスク( <u>]</u> ) <u>DISC 1</u> トラック( <u>T</u> ) Track 1 Track 2 Track 2 Track 3 Track 4 Track 5 Track 6	>追加( <u>A</u> ) <削除( <u>D</u> )	<< 総演奏時間 >> 0分 0秒 予約された曲( <u>P</u> )	全削除( <u>C</u> )
Track 7 Track 8 Track 9 Track 10 Track 11			OK Cancel

・ プログラムの再生中と一時停止中は、[Program」ボタンは使用できません。 ・ プレイバックコントロール機能に対応したビデオCDでは利用できません。

3 [トラック ]の一覧に表示されているプログラムのどれかをクリックし、[追加]ボタン をクリック

[予約された曲 ]へ、選択したプログラムが登録されます。



予約済みのプログラムを解除するときは、[予約された曲]の一覧から解除した い曲を選択し、[削除]ボタンをクリックします。また、すべての予約を解除する ときは、「全削除」ボタンをクリックします。

- 4 [OK ボタンをクリック 予約内容を設定しない場合は Cancel ボタンをクリックします。
- 5 98プレーヤの[► )ボタンをクリック 登録した順序で再生を始めます。

フォトCD再生時のボタン操作について説明します。 [ Option をクリックすると、98プレーヤの下に拡張ボタンが表示されます。

🗊 98 Player						_ 🗆 X
			NEC			
Photo	Siz	•		ictureNo.		Option
		<b>I</b> ⊲⊲	I	ÞI	ÞÞI	
Open	List	Size	e Co	lor	Сору	Save
Exte	nsion	1		オナ	態設定	Help

### 基本的な使い方

•	目動表示 / 停山	
	[▶ ボタン	クリックすると、自動表示を行います。
	[■ ボタン	クリックすると、自動表示を停止します。
,	表示	
	[ 🔫 ボタン	クリックすると、巻き戻します(ポートフォリオの再生時のみ)
	[▶▶ 」ボタン	クリックすると、早送りします(ポートフォリオの再生時のみ)。
	[◀ ボタン	クリックすると、1つ前の写真に戻ります。
	[▶]ボタン	クリックすると、次の写真を表示します。
,	CD-ROMトレイ	のイジェクト
	[≜ ボタン	停止中にクリックすると、トレイがイジェクトされます。



別売のCD-ROMドライブを使用する場合、イジェクト機能はご利用できない 場合があります。

・98プレーヤの終了

▼をクリックすると、98プレーヤを終了します。

### [Option ボタンの使い方

- ・ [ Open ]ボタン
   フォトCDに記録されている写真のファイル名一覧を表示します。表示したいフォトCDのファイル名を選択し、[ OK ]ボタンをクリックします。
- ・[List ポタン フォトCDに記録されている写真を縮小一覧表示します。写真をクリックすると、拡 大表示します。

- ・[Size ボタン クリックすると[PhotoCD画面サイズの設定 ダイアログボックスが表示されま す。画面サイズを指定できます。
- ・[Color ボタン
   クリックすると[表示色数の設定 ダイアログボックスが表示されます。表示色数
   を指定できます。
- ・[Copy ボタン クリックすると、表示されている写真をクリップボードビューアへコピーします。

[ Copy ]ボタンをクリックするたびに、新しい写真データがクリップボードに上書きされ、前にコピーしたデータは消えてしまいます。コピーしたデータは次の コピーを行う前に必ず保存してください。

 [Save ボタン クリックすると[ファイル名を持ちた]

クリックすると、[ファイル名を指定する]ダイアログボックスが表示されます。ファ イル名を指定して、写真をビットマップ形式のファイル(.BMP)として保存できま す。

・[Extension ボタン JPEGに関する各種設定を行います。詳しくは、[Help ボタンをクリックして、オ ンラインヘルプをご覧ください。



フォトCDポートフォリオを再生している場合、[ Open ボタン、[ List ボタンの 機能は利用できません。

フォトCDポートフォリオのCDで、[Open jボタン、[List jボタンの機能を利用するときは[Extension]ボタンを選び、ダイアログボックス中の [PhotoCDポートフォリオのときはポートフォリオモードで再生 チェックボック スをOFFにして、通常の98プレーヤとして利用してください。

# MPEG 動画を再生する

MPEG動画を再生するには、以下の方法があります。

- ・エクスプローラを利用する
- ・メディアプレーヤーを利用する

それぞれの手順について説明します。



NEC Soft MPEG 1.0は工場出荷時には本機にインストールされていません。 NEC Soft MPEG 1.0のインストール方法については「Part 3 添付アプリケーションの削除と追加」の「アプリケーションを追加するをご覧ください。



MPEGでも形式によっては再生できないものもあります。

#### エクスプローラを利用する



2 拡張子が ".mpg"のファイルをダブルクリック MPEG動画が再生されます。

#### メディアプレーヤーを利用する

メディアプレーヤーを利用すると、音声データ、MIDIによる音楽データ、CDオーディオ、 AVI動画データ、MPEG動画データなどを再生できます。メディアプレーヤーを利用す るには、再生機器に対応したデバイス ドライバの組み込みが必要な場合があります。詳 しくは、再生機器に添付されているマニュアルをご覧ください

- 【スタート ボタン [プログラム] [アクセサリ] [エンターテイメント] [メディア プレーヤー をクリック メディアプレーヤが起動します。
- 2 [デバイス メニューから「NEC Soft MPEG 1.0 をクリック
- 3 [ファイルを開く」ダイアログボックスで再生したいMPEGファイルを選択し、[開く] ボタンをクリック
- 4 再生ボタンをクリック 再生が始まります。





MPEGファイルとしては拡張子が .mpg "のもののほかにビデオCD内の拡張 子が .dat "のものを再生することができます。



メディアプレーヤーで動画を再生中にウインドウの大きさを変えたりすると、画面が乱れる場合があります。この場合は、ウインドウサイズを元の大きさに戻してください。

### NEC Soft MPEG1.0に関する注意事項....

- ・ビデオのみのデータあるいはビデオCDの静止画を含むデータは、現在の再生位置 を示すスクロールバーの位置と実際の再生位置は必ずしも一致しません。
- ・メディアプレーヤーのスクロールバーの右側にある小さなボタンは、インジケータがフレームのときのみ、こま送りとなります(順方向ボタン),逆再生方向のボタンは戻る場合と戻らない場合があります。
- ・画質優先モードで再生時、画像サイズを変更すると再生が遅くなる場合があります。
- ・メディアプレーヤー、98プレーヤでプルダウンメニューを表示すると再生が停止しま す。再生中にキーボードからGRPH キーを押したときも同様に停止します。

•

# 98Timerを使う

98Timerを使うと、指定した時間、および電話/FAX受信時に本機の電源を0N/ 0FFしたり、アプリケーションを起動したりできます。

98Timerは、ご購入時にすでにインストールされていますので、すぐにご利用になれます。

#### 98Timerの使い方

[スタート ボタン [プログラム] [98Timer をクリック [98Timer 画面が表示されます。

	98 Timer	
	NEC 98 Timer	
	日月火水木金土 毎日 「ime ####################################	
タイマーセット ―― ボタン	●     実行ファィル     OFF     一分後       合     実行ファィル     OFF     一分後	
リングセット ボタン	実行ファイル選択ボタン	- 終了時間設定ボタン



- ・ 98Timerを使用するときは、表示される日付と時刻が正しいことを確認して ください。日付と時刻が正しくないときは、[コントロールパネル ]の[日付と時 刻 を起動して日付と時刻を設定し直してください。
- ・指定した実行ファイルが、実行ファイルのあるフォルダ以外の他のフォル ダにあるファイルを利用する場合は、正しく起動できない場合があります。

### 自動電源ONタイマーの設定を行う

自動電源ONタイマーでは、本機の自動電源ON時刻の設定/解除と、そのときに起動するアプリケーションや終了時間を指定できます。

【スタートボタン [プログラム][98Timer をクリック]

2 [98Timer 画面で、自動的に電源をONにしたい曜日をクリック

3 自動的に電源をONにしたい時刻を設定する [98Timer 」画面に表示されている数字の上を左クリックすると時刻表示が1ずつ 大きくなり、右クリックすると1ずつ小さくなります。表示時間は24時間モードです。 電源ON時に起動したいアプリケーションを指定するので、[実行ファイル ボタン をクリック ファイルを指定する画面が表示されますので、起動したいファイルを指定してくだ

ノア1ルを指定9る画面が表示されよ9ので、起動したいノア1ルを指定してくたさい。

[任意指定 ]でプログラムファイル以外のマルチメディアファイルなどを選択 することもできます。その場合は、関連付けるプログラムの設定を行ってくださ い。関連付けるプログラムが設定されていないと、電源ON時に、エラーが発 生します。関連付けるプログラムの設定については、Windowsのヘルプをご 覧ください。

5 曜日、時刻などを設定したら、タイマーセットボタンをクリック ボタン上のアイコンが黄色く表示され、タイマーが設定されます。 もう一度ボタンをクリックするとボタンの色がもとに戻りタイマーが解除されます。

ー度タイマーを設定すると、もう一度タイマーを解除しない限り、毎回設定された曜日の同じ時刻に電源がONになります。

自動的に電源をONにした後、自動的に電源をOFFにしたい場合は、終了時間 設定ボタンをマウスでクリック 次の画面が表示されます。

自動電源問	の設定	
•	指定したファイル起動した後、自動的に 電源を切ることができます。	OK
	自動電源断を設定しますか?	キャンセル

10分間隔で終了時間を設定します。自動的に電源をONにした後、設定した時間が経過すると電源をOFFにします。



通信が終了しても通信ポートを使用し続けるアプリケーション(例えば、着信指定されたFAXソフト等を使用する場合、[通信ポートを監視するを設定するといつまでも電源がOFFされません。そのようなアプリケーションを使用する場合には、[通信ポートを監視するを設定しないようにしてください。

設定が終了したら、[ OK ]ボタンをクリック [ 終了確認メッセージ ]画面が表示されます。
98Timer 終了確認メッセージ
タイマーをセットします。 起動するファイルは [ A¥WINDOWS¥NOTEPAD.EXE ]
です.よろしいですか?
「 ロンビュータの電源を切る (D)
はい () しいえ (N) キャンセル

- ・98Timerを終了した後もコンピュータを使う場合は、[コンピュータの電源を切る]のチェックをしていない状態で、[はい]ボタンをクリック タイマーがセットされ、98Timerが終了します。
  - ・98Timerを終了した後ですぐに電源をOFFにする場合は、[コンピュータの電源を切る をチェックして はい ボタンをクリック
  - ・[いいえ ボタンをクリックすると、タイマーをセットせずに98Timerを終了します。
  - ・[キャンセル」ボタンをクリックすると、タイマー設定の画面に戻ります。



- ・[コンピュータの電源を切るを設定している場合、電源がOFFにならず、メッセージが表示される場合があります。その場合はメッセージに従って処理を終了させ、Windowsを終了させてください。
- パワーオンパスワードを忘れると、本機を使用できなくなります。設定したパスワードを忘れないように注意してください。パスワードを書き留め、安全な場所に保管することをお勧めします。また、セキュリティの面からも、自分の名前など、他の人から推測できるようなパスワードを設定しないようにしてください。

パスワードを忘れてしまった場合は『ステップアップガイド』の「Part1 本機の 基礎知識」の「セキュリティ機能をご覧になりパスワードを解除してください。



#### 自動電源ONリングの設定を行う

自動電源ONリングでは、電話/FAX受信時の自動電源ONの設定/解除と、そのときに起動するアプリケーションや終了時間を指定できます。



- ・98Timerでは、モデム着信時に電源ONした後、一定時間で自動で電源を OFFにする設定を行うことができますが、通信中に電源をOFFにしないように電源をOFFにするまでの時間は十分に長く設定してください。
- この機能を利用するには別売りのボード(PC-9801-123、PC-9801-125、PC-9801-127又はその他リングに対応したボードが必要です。
- ・リングの設定

98Timerを起動して、リングセットボタンをクリックするとボタンが黄色く表示され、リングが設定されます。

もう一度ボタンをクリックするとボタンの色がもとに戻りリングが解除されます。 起動アプリケーションの指定、98Timerの終了、終了時間の設定は自動電源ONタイマ ーと同じように行います。「 自動電源ONタイマーの設定を行う」の手順4および手順6 以降の手順で設定してください。

自動電源ONタイマーを設定するときの注意

- ・タイマー設定を行っても、以下の場合はタイマーによる自動電源ONは起こりません。 再度、98Timerを使用してタイマー設定を行ってください。ただし、もう一度電源を ONにすれば、タイマーは再設定されます。
  - ・タイマー設定をした後も継続して本機を使用し、設定した時刻よりも後で電源を 0FFにした場合
  - ・タイマー設定を行い電源をOFFにしても、タイマー設定をした時刻よりも前に電源 スイッチで電源をONにし、そのままタイマー設定をした時刻をすぎてしまった場合
- ・本体の電源ケーブルがACコンセンHに接続されていないときや停電時はタイマーによる自動電源ONは起こりません。
- ハードディスクを複数のドライブに区切って使用し、固定ディスク起動メニューを自動 起動に設定していない場合は、自動電源ONは起こりません。
   自動起動に設定するには、

(TAB)キーを押しながら、本機の電源スイッチを押す 固定ディスク起動メニュープログラムで、Windowsディレクトリのあるドライプを 選択して「1・1」キーを押し、自動起動に設定する

- ・パワーオンパスワードを設定している場合は、自動電源ONは起こりません。
- ・Windowsパスワードを設定している場合は、自動電源ONは起こりません。

•

自動電源OFFタイマーの設定を行う

自動電源0FFタイマーを使うと、指定した時間に本機の電源を0FFにすることができます。

自動電源OFFタイマーの使い方

- 【スタート」ボタン [プログラム] [98Timer をクリックし、[オフタイマ ボタンを クリック OffTimer画面が表示されます。
- 2 画面の数字上をマウスでクリックして、時刻設定を行う 数字上を左クリックすると時刻表示が1ずつ大きくなり、右クリックすると1ずつ小さくなります。表示時間は24時間モードです。
- [OK][キャンセル]の各ボタンを左クリックして、98Timerの設定/解除を行う
   [OK] : タイマーの設定を行います。

このボタンを選択した時点で電源0FFのタイマーがセットされます。 [キャンセル]:タイマーの解除を行います。



・ 自動電源OFFが行われた場合、電源がOFFにならず、メッセージが表示される場合があります。その場合はメッセージに従って操作し、Windowsを 終了させてください。

#### 自動電源OFFタイマーを設定するときの注意

- ・タイマー設定を行っても、以下の場合は、タイマーによる自動電源OFFは起こりません。
  - ・無条件に終了できないアプリケーションが起動されていた場合
  - ・ OffTimerを終了させてしまったり、 Windowsを終了させてしまった場合

### コンピュータウイルスに備える ~VirusScan

コンピュータを使用した日常業務で、フロッピーディスクや光ディスクを使用したデータの 受け渡しや、ネットワークを通じてデータのやりとりを繰り返していると、コンピュータウイ ルスに感染したデータを受け取る危険性があります。コンピュータウイルスの感染に備え て、VirusScanを使ってウイルスの検査が行えます。



VirusScanは、工場出荷時には本機にインストールされていません。 VirusScanのインストール方法については、「Part 3 添付アプリケーション の削除と追加「アプリケーションを追加する」をご覧ください。

### スキャンワクチンを使って ウイルスを検査する.....

ウイルスの検査

ウイルススキャンを起動して、本機に接続されているディスク内のウイルスを検査します。

【 [スタート]ボタン [プログラム] [McAfee VirusScan] [VirusScan 査クリック

「ウイルススキャン」の画面が表示されます。

🔍 VirusScan: A:¥		_ 🗆 🗵
ファイル(E) ツール(T) ヘルフ*(H)		
【スキャン】アウシュン】アラート】しま*ート】B全々ト】		
項目(1)	サフシォルダ 種類	(スキャン開始(S))
🚍 A¥	Yes ハードディスク	終了(P)
		デフォルトに戻す(N)
) )追加(A) 編集(E)	削16余(R)	
		<b>5</b>
○ すべてのファイル(L)	□ 圧縮ファイル( <u>M</u> )	
<ul> <li>プログラム ファイルのみ(型)</li> </ul>	プログラム ファイル⊗	

2

検査の対象となる範囲を 編集 ボタンをクリックして設定し、[ OK ボタンをクリック [ アクション アブをクリックすると [ アクション アブのウィンドウが表示されます。



•

アプリケーションを利用する

- 3 
   Sepure 2 またいので、一覧から、アクションをクリックするどウイルス検出時」の一覧が表示されるので、一覧から、アクションをクリック
- 【ブート修復の設定」ボタンをクリックして、修復方法をクリック ブート修復の設定ダイアログでは、あらかじめブートを修復する0Sの種別を指定し ます。選択項目は次の4項目です。
  - ・「ウイルス発見時に指定する」 ブートウイルスを検出したときに、「修復するディスクの選択」ウィンドウを表示し て、ブートの修復を行います。
  - ・「IBM-DOS」 IBM PC-DOSのディスクとしてブートを修復します。この設定は不要です。
  - ・「NECPC-98」
     NECPC-98のディスクとしてブートを修復します。

選択項目を指定したら、[OK ボタンをクリックします。

#### 5 [レポート タブをクリック

[レポート 汐ブのウィンドウが表示されます。

🔍 VirusScan: A.¥	_ 🗆 ×
ファイル(E) ツール(II) ヘルフ <sup>*</sup> (H)	
スキャン「アション」アラート」は「ト」除外」       マ ファイルのロゲい       ▲¥Program Files¥McAfee¥VirusScan¥VSCLog TXT       ● ロゲ ファイルの月イスを制限空ン       100       ヨ カ・アイトのサイスを制限空ン       100       マ ウゲ ファイルの移動(金)       マ ウイルスの検索(空)       マ ウイルスの検索(空)       マ ウイルスの検索(空)       マ ウイルスの検索(空)       マ ウイルスの検索(空)       マ ウイルスの検索(空)       マ ウィルの移動(金)       マ コーザ名(型)	【スキャン開始©】 終了(P) デウォルトに戻す(W)

ここでは次の設定を行います。

- 「ファイルのログ」
   用意されたテキストボックス内にログファイル名を入力するか、[参照]ボタンを
   クリックして任意のファイルを指定します。
   入力できない場合は、チェックボタンをクリックして
- ・[ログファイルのサイズを制限] 用意されたフィールド内に、10Kから999Kまでの数値を入力します。
- ・ [ ログ項目 ] ファイルのログの詳細設定です。指定したい項目のチェックボタンをクリックし て ↓ にしてください。
- [スキャン開始 をクリック スキャンが始まります。

### ウイルスを除去する .....

検出されたウイルスを除去するには、自動的に行う方法と、手動で行う方法があります。

自動的にウイルスを除去する

🔍 VirusScan: A.¥		
ファ1ル(E) ツール(E) ヘルブ(E)		
スキャン アウション アラート   レホペート   除外	1	
ウイルス検出時		<u>スキャン開始(S)</u>
アクションを指定		終了(2)
- 可能なアクション		デフォルトに戻す(
▽ ウイルスを除去(C)	▼ 感染ファイルを移動(M)	
▼ 感染ファイルを削除(D)	▼ スキャン続行(0)	
戸 項目(小路)体(の)	E ztwittek(a)	

2 「ウイルス検出時」の一覧から「感染しているファイルからウイルスを除去」を選択 する

感染ファイルを削除するには、「感染しているファイルの削除」を選択します。

3 [スキャン開始 をクリック ウイルスが検出されると、自動的に除去されます。

手動でウイルスを除去する

「VirusScan」の初期画面で、[アクション タブをクリック [アクション タブのウィンドウが表示されます。

💽 VirusScan: A:¥					_ 🗆 ×
ファイル(E) ツール(II)	Λ/レフ <sup>°</sup> ( <u>H</u> )				
スキャン アウション ア ウイルス検出時 アウションを指定 可能なアウション	ラート│レボート│除外 │ ノ		×	-   <u>「スキ</u> i 」 デウォ/	<u>ジ開始(S)</u> 終了(P) いに戻す(N)
▼ ウイル; ▼ 感染 ▼ 項目(	₹老除去©) ファイルを削除型) 刀除外Œ	ব ব	感染ファイルを移動( <u>M</u> ) スキャン病行( <u>O</u> ) スキャン中止( <u>A</u> ) プート修復の設定( <u>B</u> )_		2



「ウイルス検出時」の一覧から「アクションの指定」を選択する

3 [スキャン開始 をクリック

ウイルスが検出されると、[ウイルスが見つかりました ]ウィンドウが表示されます。

Δ

「ウイルスを除去する」を選択する

以上でウイルスの除去は終了です。



ウイルスの検査には、この他に「常にファイルのアクセスを監視」したり、「あら かじめ設定した時間にウイルスが感染していないか検査」することができます。 詳しくは、[スタート Jボタン [プログラム] [McAfee VirusScan] [Virus Scan コンソール オンライン ヘルプ 序ご覧ください。

### エマージェンシーディスクを作成する .....

エマージェンシーディスクはハードディスクのシステムファイルが未知のウイルスに感染した場合に、システムを安全に起動することができます。 以下の手順でエマージェンシーディスクを作成してください。



エマージェンシーディスクを作成する場合は、フォーマット済みのフロッピーディスクが2枚必要です。

- 【 [スタート ボタン [プログラム] [McAfee VirusScan] [エマージェンシーディスク作成 をクリック
- 2 [McAfee エマージェンシーディスク作成ユーティリティ 画面が表示された 経続 ボタンをクリック
- 3 「システムファイル付きのフロッピーディスクを、書き込み禁止を解除して挿入して ください。」というメッセージが表示されたら、フロッピーディスクドライブにフロッピー ディスクをいれて、[0K]ボタンをクリック
- 4 「McAfee エマージェンシーディスク1が作成されました」というメッセージが表示 されたら、フロッピーディスクドライブに2枚目のフロッピーディスクをいれて[0K] ボタンをクリック
- 5 「エマージェンシーディスクが作成されました」というメッセージが表示されたら [OK]ボタンをクリック



VirusScanで作成したエマージェンシーディスクを、本機のメモリを96MB以 上増設している状態でご使用になる場合は、エマージェンシーディスクの設定 を変更する必要があります。 (メモリ96MB未満の環境で運用している場合は、設定の変更は必要ありません。) 設定を変更するプログラムを次のインターネット情報サービスからダウンロー ドしてください。 ネットワークアソシエイツ社

http://www.nai.com/japan/

プログラムの使用方法についても、本情報サービスをご覧ください。

# 大切なデータを保存する ~ Masty Data Backup

Masty Data Backup(マスティデータバックアップ)は、Windows98対応の高機能 バックアップツールです。

ハードディスクが突然クラッシュした時の損害は計り知れないものがあります。そのため、 データのバックアップは不可欠です。Masty Data Backupは、このような万が一の 事態にもデータを保全し、お客様の損害を最小限におさえるツールです。

Masty Data Backupには、次のような特徴があります。

- ・ OSがサポートしている装置(MO、PD、HDおよびTAPEなど)にバックアップ できます。
- ・日付/曜日/時間を指定すれば、好きな時に自動実行するスケジューリングができます。
- ・データの圧縮を行いながらバックアップができます。
- ・複数枚の媒体に分けてバックアップができます。
- ・世代管理ができます。
- ・S.M.A.R.T機能を利用したバックアップができます。



Masty Data Backupは、工場出荷時の状態ではインストールされていません。Masty Data Backupのインストールについては、「Part 3 添付アプリケーションの削除と追加」の「アプリケーションを追加する」をご覧ください。

# データのバックアップ ・・・・・・・・・・・・・・・・・

バックアップを行う場合、以下の手順で行います。

【スタートボタン [プログラム] [Masty Data Backup 1.0] [Masty Data Backup 1.0 をクリック

以下の画面が表示されます。バックアップを行う場合バックアップボタンをクリックします。


#### 2 [ バックアップ元 アブをクリックし、バックアップするファイルをクリック バックアップ元の選択は、ドライブ、フォルダ、ファイル単位の指定に加え、拡張子に よる選択ができます。



「条件設定 アブをクリックし、バックアップ方法の指定を行う バックアップ方法は、通常、コピー、増分、差分、当日差分と5つのパターンを指定 することができます。また、データを圧縮してバックアップすることができます。





3

[自動起動」タブをクリックし、バックアップのスケジューリングの設定を行う 本バックアップツールでは、日付/曜日/時間/S.M.A.R.T機能の指定により自動 実行するスケジューリングが可能です。

「ックアップ元 条	件設定 自動調	3動   バックア	ップ先			
設定情報(E)	未設定	タイトル	レ(K): ∮98/06/1	24の設定		
F 18	F 28	П 38	F 48	F 58	F 68	〒 7日
F 88	F 98	□ 10日	F 118	□ 128	F 13B	□ 14日
F 15B	F 16B	□ 17日	F 188	F 198	F 20⊟	F 218
□ 228	F 23B	□ 24日	<b>₽</b> 258	F 268	F 278	F 288
F 29B	F 308	F 31B				▶ 末日
						すべて
- 毎週 □□曜	▶ 月曜	□ 火曜	☞ 水曜	匚 木曜	▶ 注闢	□ 土曜
						すべて
B构刻(工):						
🗖 S. M. A. R. T.						
		実行の	ω (	戻る(B)	1 Section	能 起 野 民 🎾

大切なデータを保存する ~Masty Data Backup

「バックアップ先 アブをクリックし、バックアップ先のドライブの指定を行う」 バックアップはOSがサポートしている装置(MO、PD、HDなど)に可能です。 バックアップのメディアは未フォーマットのままでは、バックアップできません。あら かじめフォーマットをしておいてください。

Masty Data Back メニュー(M) テーフやー	₽ #@ ^,1,7(H)					
バックアップ元 🎼	件設定 自動起動	」 バックアップ先	-			
( 設定情報( <u>E</u> ) )	未設定	如仆ル(16):	98/06/24の設定			
<b>a</b>						
🖃 b: 🍰 q: [KLAPCD1	1					
アーブ名:	Masty Data Back	up Tape		<u>×</u>	金麗	
空き/総容量:	a:1,457,824KB/2,0	95,872KB				
		実行(」)	戻る(型)		山田橋	<b>F E 2</b>
へルフを表示するには [#	1]を押してください。	15(	国のファイルを選択	6,904KB	C	AP

6 バックアップの設定は以上で完了です。直ちにバックアップを実行する場合は、 「実行ボタンをクリックしてください。 スケジューリングでバックアップを自動実行する場合は、「設定情報 ボタンをクリ ックし、今までの手順で設定した内容を保存します。スケジューリングは5通りの設 定が可能です。

#### 自動実行をスタートアップに登録する

スケジューリングで自動実行を行うには、常駐プログラム「MastAut.exe」を スタートア ップ
ゼループに登録する必要があります。 以下の手順で登録してください。

- [スタート」ボタン [設定][タスクバーと[スタート]シニュー をクリック
- [タスクバーのプロパティ]で[[スタート])メニューの設定 」タブをクリック 2
- [追加」ボタンをクリック 3
- [コマンドライン]に次のように入力して、[次へ]ボタンをクリック

"¥Program Files¥MASTBK¥MastAut.exe"

- 「 スタートアップ をクリックし、「 次へ ボタンをクリック
- 6 「名前の指定 画面で、ショートカットの名前を変更する場合は指定する
- 7 「 完了 ボタンをクリック
- [タスクバーのプロパティ]の[OK]ボタンをクリック 8

# バックアップデータのリストア .....

バックアップしたファイルのリストアを行う場合、以下の手順で行います。

【スタートボタン [プログラム] [Masty Data Backup 1.0] [Masty Data Backup 1.0 をクリック

以下の画面が表示されます。リストアを行う場合、リストアボタンをクリックします。



### 2

[リストア元 アブをクリックし、データのバックアップを行ったドライブまたはフォルダ を指定する

Masty Data Backup				
メニュー(M) テーフツール(G) ヘルブ(H)				
リストア元 条件設定 リストア先				
算羊級重付換車服( <u>E</u> )	arhu: 🗌			
ag (KLAPCD1)	-		ファイルの種類(S)	すべて∭
<b>a</b> a	名前		サイズ 更新日	384)
a (KLAPCD1)				
	実行( <u>」</u> )	戻る(型)	j 🗛 般 😽	😺 🔣 😕 CAPS
ルフを表示するには [F1] を押してください。				DAP



[条件設定]タブをクリックし、ログファイルの設定等リストア時の設定をする

Masty Data Backup			
.ı−(M) テーフ*ンール(G)	ヘルプ(日)		
リストア元 条件設定 リ	ストア先		
詳細情報(E)	タイトル:	J	
<ul> <li>レバックアップ時のドラー</li> </ul>	(ラ、フォルタにリストアの)		
既存ファイルの対処方法	£		
○ すべて上書き(W)			
○ ファイル名を変更(日	)		
○ 既存ファイルをスキ	ップ(P)		
○ 新しいファイルのみ.	上書き(11)		
◎ 対話モード①			方法の説明
□ リストア後に比較検査 □□グ情報 ○ 詳細情報(E)	© ● 要約©	C tuu	F B5977W
ログファイル名(L): A¥	Program Files¥MastBk¥TEMP¥	RESTORELOG	参照
	実行(型)	戻る個)	🐵 SOFT SIRI
***	1.7748405		040



▲ [リストア先]タブをクリックし、リストア先のドライブ、フォルダを指定する

リストア元 条件設定 リストア第	é	
豐美物理《學書版( <u>E</u> )	タイトル:	
<ul> <li>「バックアップ時のドライブ、ファ</li> </ul>	イルタリニリストア(Q)	最新情報(N)
🗄 🍙 q [KLAPCD1]		



Masty Data Backup 1.0の詳細な使い方については、オンラインヘルプを参照し てください。

•

# 本機のハードウェア、ソフトウェア 情報を管理する~DMITOOL

DMITOOLは、パーソナルコンピュータや接続されているハードウェア情報およびイン ストールされているソフトウェア情報を管理するものです。管理方法として、標準化団体 DMTF(Desktop Management Task Force)が規定したDMI(Desktop Management Interface を採用しております。 DMITOOLは、以下の5つの機能により構成されます。

- ・システムビューア
- 状態監視
- ・MIFブラウザ
- ・リモート電源制御
- WWW Extension

操作方法・表示画面の詳細については添付のオンラインヘルプ、および「ご使用になる前に(Readme.txt)をご覧ください。



- ・ DMITOOLは、工場出荷時には本機にインストールされていません。
   DMITOOLのインストール方法については、「Part 3 添付アプリケーションの削除と追加「アプリケーションを追加する」をご覧ください。
- ・ DMITOOLをインストールすると、ハードディスクの省電力機能が働かなく なることがあります。

### システムビューア

システムビューアは、パーソナルコンピュータや周辺機器についての情報を提供します。



システムビューアの起動

[スタート ボタン [プログラム] [Dmitool] [システムビューア をクリック システムビューア画面が表示されます。





基本的な使い方

・パーソナルコンピュータや周辺機器の情報が知りたい

画面上の[正面 汐ブまたは]背面 汐ブをクリック 画面の中で示される領域をクリックすることで各部の情報や現在の状態を表示します。

・インストールされているソフトウェアの情報が知りたい

画面上の[ソフトウェア ]タブをクリック

画面の中で示される領域をクリックすることでインストールされているソフトウェアの情報 を表示します。 ・HDDの空き容量を監視したい

[設定]メニュー [監視条件設定]コマンドをクリック [監視条件設定]画面が表示されます。

監視条件設定	? ×
「監視方法	
◎ 監視する ● 監視しない	
┏ ダイアログによる通知を行う	
ディスク メモリ プリンタ PC本体	
۲ <sup>°</sup> , איקרע	
通知条件	
☞ ディスク空き容量不足の通知を行う	
10 📑 [%]未満で通知する	
OK( <u>O</u> ) キャンセル( <u>C</u> ) 更新(A	$\overline{)}$



[監視条件設定 画面で 監視する を選択した場合、以下の点に注意してください。

 ディスクの監視やプリンタの監視において、ネットワークドライブやネットワ ークプリンタの監視を行っている場合、ネットワークドライブやネットワーク プリンタの情報を取得するために定期的(約5秒間隔)にパケットが送信さ れます。

パケットの送信を行いたくない場合はネットワークドライブの「ディスク空き 容量不足の通知を行う」およびプリンタのすべての監視項目のチェックを はずしてください。

- ・ディスクドライブが省電力モードに切り替わらない場合があります。
- スキャンディスク実行時に著しく時間を要するか、エラーとなる場合があります。

[監視方法]の[監視するをチェックします。

[監視条件設定 1回面上の[ディスク 19ブをクリックして、監視するドライブと通知条件を 設定してください。

[ダイアログによる通知を行う]チェックボックスをチェックしておけば、空き容量が不足した場合、次のようなダイアログボックスにより利用者に通知します。



本機のハードウェア、ソフトウェア 情報を管理する~DMITOOL

ここで、[ はい )ボタンをクリックすれば 休眠ファイル )画面を表示し、長期間使用してい ないファイルを削除することができます。[ 休眠ファイル ]む 情報表示 - メディア )画面か らでも表示できます。

・メモリのスワップ状態を監視したい

前述の、監視条件設定「画面を表示します。

画面上の[メモリ]タブをクリックして、通知条件を設定してください。

[ダイアログによる通知を行う チェックボックスをチェックしておけば、スワップ容量がオ ーバーした場合、次のようなダイアログボックスにより利用者に通知します。

状態監視	l(XEV) 🔀
⚠	スワッフ 容量がしきい値を超えました。
	ОК

大容量のスワップはパフォーマンスの低下を招きます。パーソナルコンピュータの利用者 にとって、通常の使用環境で容量の大きなスワップの発生頻度が高い場合はメモリの 絶対量が不足していると思われます。

・プリンタの状態を監視したい

前述の【監視条件設定 )画面を表示します。

画面上の[ プリンタ アブをクリックして、通知条件を設定してください。

[ダイアログによる通知を行う チェックボックスをチェックしておけば、通知条件にしたが って[印刷処理終了][プリンタ異常]などのダイアログボックスにより利用者に通知しま す。

印刷処理	終了 🔀
•	印刷処理が終了しました。
	OK

PC-9800シリーズでは、PC本体の状態を監視することはできません。

・HDDの空き容量が少なくなってきた......長期間使っていないファイル を検索し削除したい

[表示]メニュー [正面] [メディア情報]をクリック [情報表示 - メディア 画面を表示します。

情報表示=メディア		<u>?×</u>
(A:) (B:) (Q:)KLAPCD1		
	■ 使用容量:	
	640896 KB 625.88 MB	ウィルスチェック( <u>w</u> )
625.9	- 空き容量:	75.2.70.770(0)
	1454976 KB 1420.88 MB	<u> </u>
1420.9	 	) ("ヮ゙゙゙゙゙゙ヮ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙ヮゔ゙゚゙゙゙ヮゔゔ゙ <u>(B</u> )
	2095872 KB 2046.75 MB	
状態(」) 休眠ファイル(Ϗ)		閉じる( <u>C</u> )

[休眠ファイル ボタンをクリック [休眠ファイル 画面が表示されます。

休眠ファイル				
検索条件 ———				
ファイルニ	ä: 🎫			検索開始(0)
ファイルの種類	題: すべてのファイル		•	
検索するフォル	\$*:		卷昭(B)	閉じる( <u>C</u> )
		したまは市田のつっくり	2 Million	
		<上未1史用のファイル		前13余( <u>0</u> )
	1 77.73N9/64¥	g		
5.44	1		T T T T T T	
治則	1/1/1/9-16	17902101	更新日刊	

ここで、検索条件を入力して 検索開始 ボタンをクリックすれば指定した日数以上利用 されていないファイルの一覧を表示します。

一覧の中から不要なファイルを選択すれば削除することができます。

ファイルを削除する場合は十分注意しておこなってください。特にシステムファイル等、システムにとって重要なファイルを削除した場合はシステムが起動 できなくなる場合があります。



ネットワークコンピュータの情報を参照する

ネットワークに接続されているコンピュータのハードウェアやソフトウェアの情報を表示することができます。

・コンピュータの選択

[ネットワーク] メニュー [コンピュータリスト] ロマンドをクリック [ネットワークコンピュータリスト] 画面が表示されます。

🛃 UE-NC "1-7 - 30C 1-9UZN	? ×
<ul> <li>▶ UF+C=-Y = JC=+9/A</li> <li>ネットワ-クコンピュータリスト:</li> <li>□ ● C9821Xc13/S5</li> <li>■ PC9821Xa20/W30</li> <li>□ ● ネットワークコンピュータ</li> <li>□ ● ネットワーク全体</li> </ul>	リモートビューア(⊻) 
	■ 閉じる( <u>C</u> )

[ネットワークコンピュータリスト から情報を参照したいコンピュータをクリックし、[リモート ビューア ボタンをクリック

児モートビュー7 [ User1 ]	
1/0デバイス 本体情報	ホ'ート/ スロット インストールソフト 状態   メモリ情報 メディア ディスフプレイ SOSI/LAN
ユーザ名:	user1
1)北*1-外名:	user1
モデル名:	xxxx ジーズ
筐体外77*:	Desktop
プロセッサファシリ:	Pentium Family
CPUウロッウ:	200 MHz
os名:	Windows 95
osのパージョン:	4.00.950
<b>システム日付</b> :	1997/09/01 12/00/00
最新情報更新( <u>R</u> )	開じる(©) ^ルブ(H)

・リモートビューアの使い方

画面上の参照したい情報のタブをクリックすることで、表示内容が切り換わります。 リモートビューアは、タブ選択時に一度だけ情報の収集を行います。 最新の情報を収集するには、最新情報更新 ボタンをクリックしてください。



- ・情報を参照できるコンピュータはDMITOOL Ver2.0以上がインストール されている機種に限ります。
- ・使用可能な通信プロトコルは「TCP/IP」NetBEUI」「IPX/SPX互換プロトコル」のいずれかです。
- DMITOOLでは「TCP/IP」を標準のプロトコルとしています。
   その他のプロトコルを使用する場合は、添付のオンラインヘルプの リモートビューア 'の章を参照してください。

なお、必ず以下のネットワークの設定を行ってから使用してください。

TCP/IPを使用する場合

自コンピュータおよび接続先コンピュータにTCP/IPプロトコルをインストールしてから使用してください。

NetBEUIを使用する場合

NetBEUIプロトコルを使用する場合には、自コンピュータのダイア ルアップネットワークプロトコルを削除してから使用してください。ダ イアルアップネットワークがインストールされていると正常に接続さ れない場合があります。

状態監視

状態監視は、システムビューアの監視条件設定で設定された条件にしたがって、HDDの 空き容量やメモリのスワップ状態および通常使うプリンタに設定されているプリンタの状 態を監視し、リアルタイムに利用者に通知します。

状態監視の起動

[スタート ボタン [プログラム] [Dmitool] [状態監視 をクリック [状態監視 ]画面が表示されます。

🗳 状態監視	
	ディスクの状態 メモリの状態 プリンタの状態 PC本体の状態



基本的な使い方

・HDDの空き容量の状態やメモリのスワップ状態およびプリンタの状態 を常に表示しておきたい

システムビューアの監視条件設定で、しきい値および通知条件を設定しておけば、状態 がリアルタイム表示されます。青色が正常な状態で、赤色が何らかの異常が発生してい る状態です。

監視条件にしたがって何らかの異常を検出すれば、状態監視画面の表示を赤色にし、 異常のあることを利用者に知らせます。

復旧すれば表示を青色に戻します。

監視条件が設定されていない場合は、表示を灰色にします。

MIFブラウザ

MIFブラウザとは、コンポーネント(DMIによる管理対象となっているコンピュータ本体やソフトウェアなど)がどのような管理情報を持っているかを表示したり、それらを管理したりするものです。

MIFブラウザの起動

[スタート ボタン [プログラム] [Dmitool] [MIF ブラウザ をクリック [MIF ブラウザ 画面が表示されます。

☆ DMITCOL = MIFブラウザ ファイル(E) 機能(E) ヘルブ(E)			
DAITOOL AND BROWSER	12/赤*	-ቶンHD: 1 _ ንገሥ-ንገD: 1	
□     USERI       □     ■ Off Service Layer       □     Product       □     Product       □     Service Layer Outward Mills       □     Dit 1 = 200 Mills	1 2 3	17912-156	TVVC3-140 NEC Cosporation DMI Service Layer 1.0
174			NUM

基本的な使い方

・コンポーネントの管理情報を表示する

[MIFブラウザ」画面左側に表示されているツリー上で表示したい項目をクリック

ē

Part 1

#### WWW Extension

WWW Extensionは、パーソナルコンピュータや周辺機器の情報をWWWブラウザ で表示できるようにします。

WWW Extensionの起動

[スタート」ボタン [プログラム] [Dmitool] [WWW Extensionセットアップ )をク リック セットアップが完了しましたら、システムを再起動してください。WWW Extensionを組 み込ます。 WWWブラウザを起動し、以下のページを表示してください。

http://IPアドレス/dmiweb/default.htm

IPアドレス:WWW ExtensionがセットアップされているマシンのIPアドレスを入力してください。

DMITOOL WWW Extensionのページが表示されます。







- ・WWW Extensionをセットアップする前に、PWS(Personal Web Server をインストールしてください。
- ・ PWSのインストール方法については、[スタート ボタン [プログラム] [Internet Explorer][Personal Web Server をご覧ください。

基本的な使い方

自分の席から離れた所の身近なマシンからDMITOOLの情報を見たい
 身近なマシンにインストールされているWWWブラウザを起動します。WWWブラウザで見たいマシンのページ(http://IPアドレス/dmiweb/default.htm)を指定し、実行します。
 DMITOOL WWW Extensionのページが表示されます。





### リモート電源制御

リモート電源制御は、ネットワークに接続されている他のパソコンに対して電源の投入や 電源断、および自分のパソコンのMACアドレスを表示することができます。

リモート電源制御の起動

[スタート]ボタン [プログラム] [Dmitool] [リモート電源制御 をクリック [リモート電源制御 ]画面が表示されます。

シリモート電源制御	_ 🗆 X
	OK 終了 ヘルフ°( <u>H</u> )
他コンピュータの軍源を投入するか、または電 落とすかのどちらかを選択して、[OK]ボタンを ください。	う源を 押して
「リモート電源制御の機能――	
● 他コンピュータの電源投入	
○ 他コンビュータの電源断	
○ 自コンピュータのMACアドレスの表示	

基本的な使い方

・ネットワークに接続された他のコンピュータの電源を入れたい

[リモート電源制御 ]画面の[ リモート電源制御の機能 ]から[ 他コンピュータの電源投入 を選択し、[ 0K ]ボタンをクリック

ショリモート電源制御 -リモートパ	フーオンー		
パワーオンするコンピュータ USER1		コンピューター覧 USER2	リモートハワーオン
	<< 追加( <u>A</u> )		コンピュータ名の登録 コンピュータ名の削除
	削除( <u>R</u> ) >>		終了 ( <u>H</u> )
		,	

[コンピューター覧 からコンピュータを選択し、[ < <追加 )ボタンをクリック [リモートパワーオン )ボタンをクリックすると[パワーオンするコンピュータ ]に表示されて いるコンピュータの電源を入れます。





リモート電源制御を使用して電源が投入されるパソコンは、リモートパワーオン 機能をサポートしたハードウェアで構成され、リモートパワーオンできるように 設定されていなければなりません。

- ・ネットワークに接続された他のコンピュータをシャットダウンしたい
  - [リモート電源制御 ]画面の[リモート電源制御の機能 ]から[他コンピュータの電源断] を選択し、[OK ]ボタンをクリック

20リモート電源制御 - シャットダウン-		
シャットタウンするコンピュータ <mark>&gt;USER1</mark> >USER2	コンビューター-覧	シャットダウン(S)
<< 追加( <u>A</u> )		
<b>肖耶涂(E)</b> >>		
		終了
	一覧にはUUE1-9	<u>^ルフ°(H)</u>
▶ 結果をまとめて表示する		

[コンピューター覧 からのコンピュータを選択し] < <追加 ボタンをクリック、または 一覧にないコンピュータ ]こコンピュータ名を入力し[ < <追加 ボタンをクリック [シャットダウン ボタンをクリックすると[シャットダウンするコンピュータ ]こ表示されているコンピュータをシャットダウンします。

・自分のコンピュータのMACアドレスを表示したい

[リモート電源制御 画面の[リモート電源制御の機能 から[自コンピュータのMACアドレスの表示 を選択し、[OK ]ボタンをクリック

hail 自コンピュータのMACアトシス表示	×
LAN7なつ %数 1	終了
コンピュータ名 USER1	
MACアドレス 00 00 4c 00 00 00	

MACアドレスが表示されます。

n art

他のパソコンからのリモートコントロー ルを受ける~pcANYWHERE32 EX

> ネットワーク接続された他のパソコンに、本機の画面をそのまま表示し、遠隔地から本機 を自由に操作することができます。また、遠隔地からの保守作業などに使用することもで きます。



・ pcANYWHERE32 EXは、工場出荷時には本機にインストールされていません。

pcANYWHERE32 EXのインストール方法については、「Part 3 添付 アプリケーションの削除と追加」の「アプリケーションを追加する」をご覧く ださい。

- ・本機に添付されているpcANYWHERE32 EXを使って、本機から他のパ ソコンを操作することはできません。
- ・ 接続デバイスは、IPX、SPX、NetBIOS、Banyan VINES、TCP/IPが設 定できます。
- 他のパソコンから本機をリモートコントロール(遠隔操作)するためには、相 手側のパソコンに、別売の「DMITOOL(pcANYWHERE32 EX コン プリート版付)」または「pcANYWHERE(Symantec社製)がインストー ルされている必要があります。詳細な使用方法については、別売の 「DMITOOL(pcANYWHERE32 EX コンプリート版付)」などのマニュ アルをご覧ください。

#### pcANYWHERE32 EXの起動

[スタート ボタン [プログラム] [pcANYWHERE32 EX] [pcANYWHERE32 EX をクリック

### ホスト接続項目の作成

pcANYWHERE32 EXを使用して 他のパソコンから本機をリモートコントロールするためには、まずホスト接続項目を作成する必要があります。 ホスト接続項目を作成するには、次の手順で行います。



「ホストPC」ボタンをクリック



### 2 次のいずれかの手順を実行する

- ・ [ホストアC項目の追加 アイコンをダブルクリックし、ウィザードを使って新しい接続項目を作成する
- ・ファイルメニューで 新規作成 をクリック

### ネットワークプロトコルの設定

pcANYWHERE32 EXは、次の5種類の通信プロトコルを選択することができます。

- IPX
- SPX
- NetBIOS
- Banyan VINES
- TCP/IP

これらのプロトコルから1つを選択して設定してください。 設定は次の手順で行います。

【 接続項目 をクリックし、[ ファイル メニュー [ プロパティ をクリック または 接続項目 を右クリックし、コンテキストメニュー [ プロパティ をクリック ホスト接続項目のプロパティシートが表示されます。

NETWORKመታግ እስታፈ		×
接続情報 設定 「呼び出し側」をキュリティのオパッシー会議 」 項	目の保護	
##600 Weife 話記	目の移転 「高からななごう難用」てたされ。 確心)をからたてたさい。	
	OK キャンセル	· 酒用(岳)

2 [デバイスリスト]のリストから使用するプロトコルをクリックし、[ OK ボタンをクリック これで、設定は完了です。

### オンラインメニューの使用

オンラインメニューを使うと、通信の切断、文字による会話(チャットなどを行うことができ ます。各機能の実際の使用方法については、別売のpcANYWHERE32 EXなどの マニュアルをご覧ください。

オンラインメニューの表示方法は次の通りです。

- リモート制御接続をする

2 pcANYWHEREのセッションアイコン。 PcANYWHERE [セッション中]を右クリック [ホストオンラインメニュー]が表示されます。

pcANYWHERE	Þ	セッションの終了
移動( <u>M</u> )		Fryt
サイズ変更(5)	_	

### Part 2

# 便利な機能を利用する

このPartでは、以前からPC-9800シリーズのコンピュータを使用している方にとって、 便利な機能について説明します。

なお、これらのアプリケーション(海外ゲーム対応ユーティリティを除く)は、工場出荷時には、本機にインストールされていません。

お使いになる場合は、「Part3 添付アプリケーションの削除と追加」の「アプリケーションを追加する」(了P.68)の手順を参照してインストールしてください。

英語モードフォントを使用する

DOS APインストーラ

海外ゲーム対応ユーティリティ

# 英語モードフォントを使用する

日本語モードフォントのままで、海外製Windows 98アプリケーションをWindows 98 で利用する場合、著作権(©)や登録商標(®)が正しく表示されません。そのため、使用 するフォントの一部を英語モードフォントに切り替えて正しく表示する必要があります。ま た、その逆に英語モードのままで、日本語版Windows 98アプリケーションを Windows 98で利用する場合も、正しく表示されない文字があります。

それぞれのモードでの表示状態については、次の通りです。

	海外製Windows 98 アプリケーションを使用	日本語版Windows 98 アプリケーションを使用
日本語モードフォント	「©」 「ウ <sub>ム</sub> 「®」 「ヨ <sub>ム</sub> 「\」 「¥」	正しく表示される
英語モードフォント	正しく表示される	רלי] נקי] נלי גע®י נצי, ©ג'∃, נלי

### 英語モードフォントへの切り替え

使用するフォントを日本語モードから英語モードに切り替えます。

- 【スタート ボタン [設定] [コントロールパネル ]の[フォント をダブルクリック [Fonts フォルダが開きます。
- 2 [ファイル]メニュー [新しいフォントのインストール]コマンドをクリック [フォントの追加]ダイアログボックスが表示されます。
- 3 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセット
- 4 [ドライブ]にCD-ROMドライブ(通常は「Q:」)を指定し、[フォルダ]に 「¥usefulpk¥usfont」ディレクトを指定する
- 「フォントの一覧 Jのリストボックスに、「EnglishModeFixedSys (Set #6)」、 「EnglishModeSystem (Set #6)」、「EnglishModeTerminal (Set #6)」 が表示されることを確認し、[すべて選択 ボタンをクリックした後、[OK ]ボタンを クリック 「Fonts Dォルダ内に英語モードフォントが追加され、英語モードフォントに切り替

[Fonts フォルダ内に英語モードフォントが追加され、英語モードフォントに切り替わります。



使用しているフォントが英語モードのままで、日本語版Windows 98アプリケーションをWindows 98で利用すると、「ゥ」、「ョ」、「¥」が正しく表示されなくなります。この場合、英語モードを日本語モードに切り替えてください。



### 日本語モードフォントへの切り替え

使用するフォントを英語モードから日本語モードに切り替えます。

- 【 [スタート ボタン [設定] [コントロールパネル] [フォント をクリック [Fonts フォルダが開きます。
- 2 [Fonts フォルダ内の「EnglishModeFixedSys (Set #6)」、「EnglishMode System(Set #6)」、「EnglishModeTerminal (Set #6)」、「EnglishMode (表示される場合もあります を選択し、[ファイル レニューの[削除 をクリック 「これらのフォントを削除してもよろしいですか?」というメッセージが表示されます。 [はい)ボタンをクリックすると英語モードフォントが削除され、日本語モードフォント に切り替わります。



使用しているフォントが日本語モードのままで、海外版Windows 98アプリケ ーションをWindows 98で利用すると、著作権(©)や登録商標(®)(\)が正 しく表示されなくなります。この場合、日本語モードを英語モードに切り替えてく ださい。 

# DOS APインストーラ

Windows 98の動作環境を変更せず、MS-DOSアプリケーションのインストールを行う ことができます。また、既にインストールされているMS-DOSアプリケーションのショートカ ットを作成したり、使用しているデバイスドライバの内容を確認/修正することもできます。



DOS APインストーラは工場出荷時にはインストールされていません。 DOS APインストーラのインストール方法については、「Part3 添付アプリケ ーションの削除と追加」の「アプリケーションを追加する」をご覧ください。



### DOS APインストーラをお使いになる前に

次のようなMS-DOSアプリケーションは、Windows上では実行できません。

- フロッピーディスクからの起動が必要なアプリケーション このようなアプリケーションは、Windowsを終了してMS-DOSモードで再起 動してから実行してください。起動方法の詳細については、アプリケーションに 添付しているマニュアルをご覧ください。
- ADDDRVコマンドに対応していないかな漢字変換機能を利用するアプリケーションや、終了後MS-DOSに戻らないアプリケーション
   このようなアプリケーションは、後述の「アプリケーションを利用する際の注意」
   をご覧ください。

また、次のようなアプリケーションはDOS AP インストーラではインストールできません。

 ・ インストール中またはインストール後にコンピュータを自動的に再起動するアプリケーション
 このようなアプリケーションは、MS-DOSモードでコンピュータを再起動して、手 作業でインストールしてください。
 手作業によるアプリケーションのインストールについては後述の「手作業による アプリケーションの登録」をご覧ください。
 インストール中またはインストール後にコンピュータを自動的に再起動するかどう かは、アプリケーション添付のマニュアルをご覧ください。



### MS-DOSアプリケーションをインストールして ショートカットを作成する.....

DOS AP インストーラを使用して、新しくMS-DOSアプリケーションをインストールした後、ショートカットを作成するには、次の手順で行ってください。

### DOS APインストーラでのインストール

MS-DOSアプリケーションをDOS AP インストーラを使用してインストールします。

- 【スタート ボタン [プログラム] [DOS アプリケーション] [DOS APの登録] をクリック [DOS アプリケーションの登録 」ダイアログボックスが表示されて、インストールに必要な手順や注意事項が説明されますので、確認しながら[次へ]ボタンをクリックして進めてください。
- 2 MS-DOSプロンプトが起動して、MS-DOSプロンプトのDOS AP インストーラの 画面が表示されます。インストールするMS-DOSアプリケーションのインストール手 順にしたがって、インストールを行ってください。

	★★★ DOSAPインストーラ ★★★ (EXIT'でWindowsに戻ります) ・ MS-DOSアブリケーションのマニュアルにしたがってアブリケーション のインストール (セットアップ)を行ってください。 アブリケーションのインストール後で後、MS-DOSのプロンプトに戻っ たら、EXIT と入力してリターンキーを押してください。このMS-DOS 画面を後でしてWindowsに戻ります。
_	<ul> <li>注意 MS-00Sアブリケーションのインストールブログラムで、CONFIG_SYS /ALTOEXEC.BATを修正する/しないを選択できる場合は、必ず CONFIG_SYS/ALTOEXEC BATを修正するを選択してくたさい。 また、MS-DOSアブリケーションのインストール終了時にリセット (再起動)を促す場合がありますが、行わないでください。</li> </ul>
A:¥>	
C	CT CU CA ST SU VOID NUL INS REP <sup>^</sup> Z



- MS-DOSアプリケーションのインストール中にCONFIG.SYSと AUTOEXEC.BATの変更を選択する場面がある場合は、必ず「変更す るを選択してください。
- インストールに際して必要なファイルがハードディスクに存在しない場合、
   以降の操作が正しく実行できない場合があります。
- ・MS-DOSアプリケーションのインストールプログラムは必ずフルスクリーンで実行してください。



MS-DOSアプリケーションのインストール方法については、MS-DOSアプリケ ーションに添付されているインストールまたはセットアップ関連のマニュアル をご覧ください。



MS-DOSアプリケーションのインストール終了後、「EXIT (Ju)」と入力する Windows 98の画面に戻ります。



MS-DOSアプリケーションのインストール後、リセット(再起動)の指示がある 場合がありますが、絶対に行わないでください。必ずインストール終了後は、 「EXITe」と入力して、Windows 98の画面に戻ってください

DOS APインストーラでインストールできなかった場合は、後述の「手作業によるア プリケーションの登録を参照してインストールしてください。

引き続き、[DOSアプリケーションの登録 ダイアログボックスが表示されて、インストールしたMS-DOSアプリケーションを[スタート )メニューの[プログラム]-[DOSアプリケーション フォルダに登録する作業が行われるので、[次へ )ボタンをクリック これ以降は「インストールしたMS-DOSアプリケーションのショートカットの作成」の手順に進んでください。また、登録しない場合は、[終了 )ボタンをクリックして [DOS APインストーラ を終了してください。

インストールしたMS-DOSアプリケーションのショートカットの作成

インストールしたMS-DOSアプリケーションのショートカットを作成します。

- MS-DOSアプリケーションの起動方法を選択する画面で、[コマンドで起動]または、自動的に起動]のどちらかを選択した後、[次へ]ボタンをクリック
- 2 MS-DOSアプリケーションを起動するコマンド名を入力する画面で、コマンド名には MS-DOSアプリケーションの起動コマンドを入力するか、[参照]ボタンをクリックして 起動用に作成、インストールした実行ファイル(\*.EXE)」バッチファイル(\*.BAT)または コマンドファイル(\*.COM)を選択した後、[OK]ボタンをクリック 選択したコマンドを表示しますので、確認した後、[次へ]ボタンをクリックしてください。



MS-DOSアプリケーションの起動コマンドについては、MS-DOSアプリケーションに添付されているインストールまたはセットアップ関連のマニュアルをご覧ください。

記動するMS-DOSアプリケーションの登録名を指定する画面が表示されますので、アプリケーション名を入力した後、[次へ]ボタンをクリック

MS-DOSアプリケーションの起動に必要なデバイスドライバや環境変数を設定する作業が行われますので、これ以降の「MS-DOSアプリケーションのデバイスドライバ定義ファイルの編集」の処理を進めるショートカットの作成が必要ない場合は、[終了]ボタンをクリックして[DOS APインストーラ を終了してください。



MS-DOSアプリケーションの起動に必要なデバイスドライバや環境変数については、MS-DOSアプリケーションに添付されているインストールまたはセット アップ関連のマニュアルをご覧ください。

### MS-DOSアプリケーションのデバイスドライバ定義ファイルの編集

インストールしたMS-DOSアプリケーション起動用デバイスドライバ、環境変数を設定します。ただし、MS-DOSアプリケーションのインストール時にCONFIG.SYSや AUTOEXEC.BATが変更された場合は、この処理は行えません。

【 オプション ボタンをクリック】

[DOSアプリケーションの登録 ]の[デバイスドライバ定義ファイルの編集 」タブの画面が表示されます。

DOS77リケーションの登録 - X00000X ? X デバイスドライル定義ファイルの編集 DOS AP起動用ファイルの編集
使用7p1ル名: <mark>hone</mark>
7ァイル変更( <u>F</u> )
有効な内容(型)
上① 下① 編集(2)
参照ファイル(B)
OK キャンセル 更新(A)



デバイスドライバを新規に追加する場合は、[追加]ボタンをクリック デバイスドライバを選択する画面が表示されます。[ファイルの場所][ファイル名] (デバイスドライバ名:\*.DRV を選択した後、[開く]ボタンをクリックすると[有効な 内容]に新規に追加したデバイスドライバが表示されます。



[追加]は、Windowsの[マイ コンピュータ または[エクスプローラ]の[表示] メニュー [フォルダオプション]の[表示]タブの[ファイルの表示]で[すべて のファイルを表示]をクリックしてから行ってください。

3

すでに設定されているデバイスドライバを削除する場合は、[有効な内容]に表示 されているデバイスドライバを選択した後、[無効」ボタンをクリック デバイスドライバが[無効な内容]に移動します。 一度、削除したデバイスドライバを設定する場合は、[無効な内容]に表示されてい るデバイスドライバを選択した後、[ 有効 ボタンをクリックします。

- デバイスドライバの設定内容が変更できたら、[更新 ボタンをクリック デバイスドライバの設定内容が更新されます。引き続き、環境変数の設定内容の 変更を行いたい場合は、[DOS AP起動用ファイルの編集 アブをクリックしてく ださい。[DOS AP起動用ファイルの編集 アブの画面が表示されますので、これ 以降の「MS-DOSアプリケーションの起動用ファイルの編集」の処理を進めて ください。必要ない場合は、[キャンセル ボタンをクリックして「MS-DOSアプリ ケーションの起動用メモリサイズの設定」の処理に進んでください。
  - ・すでに設定されているデバイスドライバを編集したり、パラメータを変更する場合は、「有効な内容」に表示されているデバイスドライバを選択した後、「編集」ボタンをクリックします。「指定行の修正」ダイアログボックスが表示されます。行の修正をした後、「更新」ボタンをクリックすると、デバイスドライバのパラメータが更新されます。
    - 他のアプリケーションで使っているデバイスドライバ定義ファイルを共有する場合は、[ファイル変更]ボタンをクリックして共有するファイルを選択してください。

### MS-DOSアプリケーションの起動用ファイルの編集

インストールしたMS-DOSアプリケーション起動用環境変数を設定します。

- 1 [DOS AP起動用ファイルの編集 」タブの画面で環境変数を新規に追加する場合は、[追加」ボタンをクリック 環境変数を入力するための画面が表示されます。環境変数を入力した後、[更新] ボタンをクリックすると[有効な内容]に表示されます。
- 2 すでに設定されている環境変数を削除する場合は、[有効な内容]に表示されている環境変数を選択した後、[無効 」ボタンをクリック 環境変数が「無効な内容]に移動します。 削除した環境変数を設定する場合は、[無効な内容]に表示されているデバイスド ライバを選択した後、[ 有効」ボタンをクリック
- 3 環境変数の設定内容が変更できたら、[更新」ボタンをクリックして、[OK」ボタンを クリック 環境変数の設定内容が更新されて、メモリサイズを設定する画面に進みます。メ モリサイズの設定が必要な場合は、「MS-DOSアプリケーションの起動用メモ リサイズの設定」の処理を進めてください。

### MS-DOSアプリケーションの起動用メモリサイズの設定

インストールしたMS-DOSアプリケーションの起動用メモリサイズを設定します。

 【オプション ボタンをクリック MS-DOSアプリケーションを実行するディレクトリを設定する画面が表示されます。

DOSアブリケーションの登録	
	[XXX] を実行するディレクトリを入力してください
	デャレクトソ₪ <mark>■##XXX</mark>
	< 戻る(E) 次へ> 終了



実行するディレクトリ名を入力した後、[次へ」ボタンをクリック 設定内容が有効になり、メモリサイズを設定する画面に進みます。

DOS77リケーションの登録	[XXX] で使用するメモリサイスを入力してください
	エハヘンショナル バモリ(12): <b>(回動) マ</b> EMS バモリ(2): 自動 マ ×MS バモリ(1): 自動 マ 環境変数の行列期サイス*(⊻) 自動 マ
40 AA * AA	〈戻る( <u>B</u> ) 次へ〉 終7

- 3 [コンベンショナルメモリ][EMSメモリ][XMSメモリ][環境変数の初期サイズを設定した後、[次へ」ボタンをクリックコマンド、実行ディレクトリメモリサイズの設定を確認する画面が表示されます。
- 4 設定を確認した後、[次へ ボタンをクリック MS-DOSアプリケーションが、[スタート]メニューからアイコンを選択することで起動できるようになります。

MS-DOSアプリケーションのショートカットの起動

MS-DOSアプリケーションのショートカットを起動するには、次の2つの方法があります。

- [スタート ]ボタン [プログラム] [DOSアプリケーション ]からMS-DOSアプ リケーションのショートカットをクリック
- [マイ コンピュータ ]や[エクスプローラ ]から¥Windows¥スタートメニュー¥プ ログラムにある[DOSアプリケーション ]フォルダを開いて、MS-DOSアプリケー ションのショートカットをダブルクリック

### MS-DOSアプリケーションのショートカットを 作成する.....

DOS APインストーラを使用して、新しくMS-DOSアプリケーションのショートカットを作成するには、次の手順で行ってください。

MS-DOSアプリケーションのショートカットの作成

MS-DOSアプリケーションのショートカットを作成します。

- 【 DOS APショートカットの作成 を起動すると[DOSアプリケーションの登録 ダイ アログボックスが表示されます。
- 2 画面に表示される指示にしたがって、[次へ ボタンをクリック ハードディスクにインストールされているMS-DOSアプリケーションを起動するコマ ンドを入力する画面が表示されます。起動コマンドを入力するか、[参照 ボタンを クリックして起動用に作成、またはインストールされている実行ファイル(\*.EXE) バッチファイル(\*.BAT またはコマンドファイル(\*.COM を選択した後、[OK] ボタンをクリックしてください。
- 3 アプリケーション名を設定する画面が表示されますので、アプリケーション名を入力した後、[次へ)ボタンをクリック 以降のデバイスドライバ、環境変数、メモリサイズの設定は、前述の「MS-DOSア プリケーションをインストールしてショートカットを作成する」で行ったのと同じ手順で 設定してください。MS-DOSアプリケーションのショートカットが、[スタート]メニュー の[プログラム]から[DOSアプリケーション]に登録されます。

### MS-DOSアプリケーションのショートカットの起動

MS-DOSアプリケーションのショートカットを起動するには、次の2つの方法があります。

- ・ [ スタート ]メニューの[ プログラム ] [ DOS アプリケーション ]からMS-DOSア プリケーションのショートカットをクリック
- [マイ コンピュータ]や[エクスプローラ から¥Windows¥スタートメニュー¥プ ログラムにある[DOSアプリケーション]フォルダを開いて、MS-DOSアプリケー ションのショートカットをダブルクリック

### MS-DOSアプリケーションのショートカットのデバイスドラ イバ、環境変数を変更する

ショートカットのデバイスドライバの内容を変更します。

「デバイスドライバの内容を確認するショートカットアイコンをクリックし、ショートカットアイコンにマウスカーソルを近づけたまま右クリックするか、または、[エクスプローラ]の[ファイル]メニューをクリックして、[デバイスドライバの変更]をクリック使用しているデバイスドライバの一覧が表示されます。



2 以降のデバイスドライバと環境変数の設定については、「MS-DOSアプリケーションのデバイスドライバ定義ファイルの編集」と「MS-DOSアプリケーションの 起動用ファイルの編集」の手順を繰り返す

# DOS APインストーラの注意事項.....

- かな漢字変換ドライバのみの登録はできません。
- MS-DOSアプリケーションのインストール終了後、自動的にリセットを行う(電源 スイッチを押す以外の操作を受け付けない場合も含みます)MS-DOSアプリケ ーションは登録できません。
- MS-DOSアプリケーションのインストール途中でエラーが発生した場合は、環境 設定ファイル(CONFIG.SYS、AUTOEXEC.BAT)は変更されたままの状態 になります。
- ・ブロックデバイスを使用するMS-DOSアプリケーションは、正常に動作しないこ とがあります。
- ・ 起動コマンドにバッチファイル(\*.BAT を指定しているアイコンを起動した場合、 アプリケーションを終了してもMS-DOSプロンプトが終了しないことがあります。
   EXIT (型と入力してMS-DOSプロンプトを終了させてください。
- MS-DOSアプリケーション固有のかな漢字変換ドライバを使用するMS-DOS アプリケーションは、MS-DOSプロンプトが起動した後でかな漢字変換ドライバ を使用する環境を作成(CONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATを変更し、MS-DOSアプリケーションのインストールを行ってください。
- ・ MS-DOSアプリケーションの動作時に必要な設定を手作業で行う場合は、MS-DOSプロンプト終了前に行ってください。
- ・Windows 98で使用できないドライバをCONFIG.SYSやAUTOEXEC.BAT に追加するMS-DOSアプリケーションを登録しようとすると、「MS-DOSアプリケ ーションのインストール時に変更したCONFIG.SYSやAUTOEXEC.BATファ イルの内容を元に戻しますか」という確認ダイアログボックスが表示されます。この 場合、通常ばはいた選択してください。「いいえ」を選択すると、Windowsが起動 しなくなることがあります。
- ・MS-DOSアプリケーションのインストールを行ったことによりWindowsが起動 しなくなった場合は、次の手順で環境を元に戻してください。

CTRL キーを押した状態で本機を再起動し、WindowsをSafe モードで起動 する

[スタート]ボタン [プログラム] [エクスプローラ をクリックし、[表示]メニュ ー [フォルダオプション をクリック 2

[表示 汐ブをクリックし、[ファイルの表示 ]] すべてのファイルを表示 )をクリック して[OK )ボタンをクリック

[ エクスプローラ )から¥Windows¥スタートメニュー¥プログラム¥DOSアプ リケーションにある DATA フォルダを開く

次のファイルがあることを確認する

確認するファイルは、手順の操作を行ったときの状況によって異なります。

- MS-DOSアプリケーションのインストール中に再起動した場合
   x\_CONF.SYS
   x\_AUTO.BAT
   (xはドライブ名)
- ・ MS-DOSアプリケーションのインストール後に環境を元に戻さなかった場合

x\_CONF.yyy

x\_AUT0.yyy

(xはドライブ名、yyyはファイル番号を示します。同じファイル名でファイル 番号が異なるファイルが複数ある場合はファイル番号の大きいファイルを 選択してください)

手順 で選択した2つのファイルを、ドラッグアンドドロップでドライブのルートディレクトリにコピーする 元のCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATは削除しておきます。

コピーしたファイルを選択し、[ファイル メニュー [名前の変更 をクリックし、ファイル名を次のように変更する

x_CONF.SYS/x_CONF.yyy	CONFIG.SYS
x_AUTO.BAT/x_AUTO.yyy	AUTOEXEC.BAT

### 手作業によるアプリケーションの登録.....

DOS APインストーラでインストールできないアプリケーションは、本項の説明を参考に して登録してください。以下に具体的な操作手順を説明します。あらかじめ、フォーマット 済みのフロッピーディスクを1枚用意してください。なお、説明は以下の前提で行います。 お使いのシステム構成と異なる場合は、読み替えてください。

- ・Windowsがインストールされている内蔵ハードディスク :Aドライブ
- ・フロッピーディスクドライブ

DOS APインストーラでインストールしようとして成功しなかった場合は、手順1から、そうでない場合は手順7からお読みください。

:Bドライブ

- 【 スタート ボタン [ プログラム ] [ エクスプローラ をクリック [ エクスプローラ ] ウィンドウが表示されます。
- 2 [表示 以ニューの[フォルダオプション をクリック [フォルダオプション ウィンドウが表示されます。[表示 タブを選択し、[ファイルの 表示 ]で[すべてのファイルを表示 を選択して、[0K 」ボタンをクリックします。
- 3 エクスプローラから¥Windows¥スタートメニュー¥プログラム¥DOSアプリケーションにある[DATA]フォルダを開く
- 【X\_AUTO.BAT ][X\_CONF.SYS 【Xはドライブ名)の2つのファイルをドラッ グアンドドロップでドライブのルートディレクトリにコピーする (元のCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATは削除しておきます)。
- 5 コピーしたファイルをクリックし、[ファイル )メニュー [名前の変更 をクリックして、 X\_AUTO.BATはAUTOEXEC.BATに、X\_CONF.SYSはCONFIG.SYSに 名前を変更する
- コピーしたファイルをクリックし、[ファイル]メニュー [プロパティ をクリックして、
   [属性]の[隠しファイル]のチェックマークを消す
- フォーマット済みのフロッピーディスクをBドライブに挿入し、Windowsの[エクスプローラ を利用して、AドライブのルートディレクトリにあるCONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATの2つのファイルをBドライブにコピーする
- Bドライブにコピーしたファイルの名前を、それぞれCONFIG.NEC、 AUTOEXEC.NECに変更する
- 9 フロッピーディスクを取り出す
- 10 起動中のアプリケーションをすべて終了し、[スタート ボタン [Windowsの終 了 をクリックし、[MS-DOSモードで再起動する をクリックして[OK ボタンをクリ ック
- 11 MS-DOSモードで再起動したらアプリケーションをインストールする

Part

2

便利な機能を利用する



インストール中にCONFIG.SYSやAUTOEXEC.BATを書き替えてもよい かどうか確認されたら、「書き替えない」を選択してください。確認メッセージが 表示されなかった場合は、アプリケーションのインストール終了後、手順7で用 意したフロッピーディスクをドライブに挿入して、コマンドプロンプトから次のよ うに入力します。

COPY B: ¥CONFIG.NEC A: ¥CONFIG.SYS COPY B: ¥AUTOEXEC.NEC A: ¥AUTOEXEC.BAT また、アプリケーションのインストール先や起動ドライブとしてAドライブ以外 のドライブを指定した場合、そこにCONFIG.SYSやAUTOEXEC.BATが 存在するとそれらのファイルが書き替えられる可能性があります。その場合は、 上記手順を参考にして、該当ドライブのCONFIG.SYS、 AUTOEXEC.BATを復元してください。

**12**「EXIT (2)」と入力してコンピュータを再起動する これ以降は前述の「MS-DOS アプリケーションのショートカットを作成する」を参照 してください。

## アプリケーションを利用する際の注意 .....



市販のMS-DOSアプリケーションには、使用するMS-DOSのバージョンを 指定しているものがあります。ご使用の際には、アプリケーションが動作する MS-DOSのバージョンを確認してください。

- ADDDRVコマンドでかな漢字変換用デバイスドライバが組み込めな いアプリケーション、または終了してもMS-DOSに戻らないアプリケ ーションの実行方法
  - ▲ [エクスプローラ]で目的のプログラムのアイコンをクリック
  - 2 [ファイル メニュー [プロパティをクリック
  - 3 [ プロパティ ウィンドウマ プログラム タブを選択し、[ 詳細設定 ボタンをクリック
  - 4 [MS-DOSモード]にチェックマークをつけて新しいMS-DOS設定を指定する を クリック
  - 5 [MS-DOSモード用CONFIG.SYSファイル]と[MS-DOSモード用 AUTOEXEC.BATファイル を記述する



- [0K ボタンをクリック
   [プロパティ ]のウィンドウに戻ります。
- 7 [OK ボタンをクリック [プロパティ]のウィンドウを閉じます。
- こスタートボタン [Windowsの終了 をクリックし、[MS-DOSモードでコンピュータを再起動する をクリックして、[はい)ボタンをクリック
- コンピュータが再起動したらアプリケーションを実行する
- ・登録したアプリケーションの実行環境を詳細に設定するには
   各プログラムの[プロパティ]で設定を行います。詳細はヘルプの[キーワード]画面で
   「MS-DOSプログラム 10項目を検索し参照してください。
- ・登録したアプリケーションにオリジナルのアイコンを割り当てるには 各プログラムの【プロパティ]で設定を行います。次の手順でアイコンを割り当ててください。
  - ◀ [エクスプローラ]で目的のプログラムを選択する
  - 2 [ファイル] メニュー [プロパティ をクリック
  - 3 [ プロパティ ダイアログボックスで プログラム を選択し、[ アイコンの変更 ボタン をクリック
  - △ [アイコンの変更 ダイアログボックスでアイコンを選択し、[ 0K ボタンをクリック
  - 5 [OK ボタンをクリックし、[プロパティ]のウィンドウを閉じる

والتقايد

# 海外ゲーム対応ユーティリティ

海外製ゲームを本機でご利用になる場合、対応するキーボードの違いによって正しいキ ー入力が行えません。海外ゲーム対応ユーティリティは、海外製ゲームをPC-9821シリー ズのキー入力で正常に行うことができます。

海外ゲーム対応ユーティリティは、ご購入時にすでにインストールされていますのですぐ にご利用になれます。詳しくは、「スタートボタン 「 プログラム 1 「 海外ゲーム対応ユー ティリティ] 「お読みくださいをご覧ください。



海外ゲーム対応ユーティリティは削除しないでください。削除した場合、再び 追加することはできません。

海外ゲーム対応ユーティリティの使い方

- ◀ 「スタート ボタン 「プログラム ] 「海外ゲーム対応ユーティリティ ] 「海外ゲーム」 対応ユーティリティをクリック タスクバーに海外ゲームユーティリティが表示されます。
- 3 海外製ゲームを起動する
- 海外ゲーム対応ユーティリティの終了
  - ◀ 海外製ゲームを終了する
  - 2 タスクバーの画を右クリックし、[終了 をクリック



- アプリケーションソフトによっては、海外ゲーム対応ユーティリティを使用し、 ても、キーボードからの入力が正しく行えないものもあります。
- ・ 海外ゲーム対応ユーティリティの機能がONになっていると、日本語入力 ができなくなります。

### Part 3

•

# 添付アプリケーションの削除と追加

本機に標準でインストールまたは添付されているアプリケーションの削除方法と追加 方法について説明します。 ここではWindows 98およびインストールされているアプリケーションについての知 識が必要になります。よくご理解のうえ、ご利用ください。 アプリケーションを削除する アプリケーションを追加する
# アプリケーションを削除する

本機に標準で添付されているアプリケーションの削除の方法について説明します。 削除の方法は、アプリケーションによって異なります。 なお、購入後にインストールされた別売のアプリケーションの削除方法については、アプ リケーションに添付のマニュアルをご覧ください。



- アプリケーションによっては、削除したときに、一部のディレクトリおよびデス クトップやスタートメニューのショートカットが残ることがあります。この状態 でも本機を操作する上では支障はありませんが、アイコンを削除するには、 各アプリケーションの削除方法にしたがって操作してください。
- アプリケーションを削除する時、「共有ファイルを削除するかどうか」のメッセージが表示される場合がありますが、共有ファイルは削除しないでください。削除すると、他のアプリケーションに影響を及ぼす場合があります。



海外ゲーム対応ユーティリティは、削除しないでください。削除した場合、再び 追加することはできません。

コントロールパネルを使って削除するアプリケーション

次のアプリケーションが削除できます。手順については「コントロールパネルを使って削除する」を参照してください。

- ・ユースフルパックセットアップ DOS コマンド ユースフルパックユーティリティ
- 98Timer
- ・98プレーヤ
- DMITOOL
- Masty Data Backup
- Virus Scan



#### アプリケーションのアンインストール機能を使うもの

次のアプリケーションが削除できます。手順については「アンインストール機能を使って 削除する を参照してください。

- pcANYWHERE32 EX
- NEC Soft MPEG1.0

## コントロールパネルを使って削除する .....



コントロールパネルを使ってアプリケーションを削除する場合、以下の「削除の準備」の手順後にアプリケーションをクリックし、[追加と削除」ボタンをクリック後は、アンインストールを中断してもそのままではアプリケーションをご使用になれない場合があります。その際はコンピュータの再起動を行ってからアプリケーションをご使用ください。

#### 削除の準備

- Windows 98を起動する
- 2 [スタート ボタン [設定] [コントロールパネル をクリック
- [アプリケーションの追加と削除 をダブルクリック
   [アプリケーションの追加と削除のプロパティ )画面が表示されます。
- 4 [ インストールと削除 」タブをクリック

この画面では、次のアプリケーションを削除できます。すでに削除しているアプリケーションはこの画面には表示されません。

- ユースフルパックセットアップ
- 98Timer
- ・98プレーヤ
- DMITOOL
- Masty Data Backup
- Virus Scan

ユースフルパックについては、ユースフルパックのすべてのアプリケーションを削除後 にも、[インストールと削除 ]画面に残ります。 加

#### ユースフルパックを削除する

次の手順でユースフルパックを削除します。

- 1 削除の準備」の手順1~4を行う(了P.61)
- 2 [インストールと削除 画面の一覧から ユースフルパックセットアップ をクリック 反転表示 し、[追加と削除 ボタンをクリック
- 3 [ユースフルパックセットアップ 画面が表示されるので、[次へ をクリック)
- Ⅰ [セットアップ方法の選択 画面で、[カスタム を選択して、[次へ をクリック
- 5 表示された画面の削除したいアプリケーションのチェックボックスをクリックして、 チェックを外す



- ・ [詳細 ボタンが表示されている場合は、それぞれのアプリケーションに含まれる機能を個別に削除できますが、お使いの環境によっては、[DOSコマンド ] 中に、選択できない機能があります。
- コントロールパネルを含めて、実行中のアプリケーションはすべて終了して から削除を行ってください。

次のアプリケーションが削除できます。

DOSコマンド	MS-DOSモード用グラフィックドライバ
	MS-DOSモード用サウンドドライバ
	(Mate-X/CanBeシリーズ用サウンドドライバ)
	MS-DOSモード用基本グラフィックドライバ
	NECAI FEP
	USKCGMコマンド
ユースフルパックユーティリティ	98環境設定ユーティリティ
	DOS APインストーラ
	DOS環境設定ユーティリティ

- チェックボックスのチェックを外したら、[次へ]ボタンをクリック アプリケーションの削除がはじまります。
- 7 [セットアップが完了しました と表示されたは 完了 ボタンをクリック システム設定が変更された場合、再起動を促すメッセージが表されます。 [はい を選択して、システムを再起動してください。



#### 98Timerの削除

次の手順で98Timerを削除します。

- 1
  - 「 削除の準備」の手順1~4を行う(了P.61)
- 2
  - [インストールと削除 )画面の一覧から「98Timer 」をクリックし、[追加と削除 )ボタ ンをクリック
- 3 「98Timerとそのすべてのコンポ ネントを削除しますか?」のメッセ ジが表示されるので、削除する場合にははい」ボタンをクリック 98Timerの削除がはじまります。
- 4. [共有コンポーネント」画面が表示されたら、[すべて残す(N)」ボタンをクリック

共有印度	<b>一千八</b>					
	共有ファイル					
	A.#WINDOWS¥SYSTEM#COMDLG32.0CX					
3	これは共有工作「それ下で、ほれのアフリケーションから利用されている可能性があります。この ファルを削除しない場合は、「採用」を別ッカしてくたさい。					
	すべての共有12ホーネントを削除したい場合は[すべて削除]を、どの共有12ホーネントも削除し たくなければ[すべて残す]を別ッルしてください。					
	新聞除(B) すべて残す(W) すべて新聞除(A)					

5 「削除されました」のメッセ - ジが表示されたら( OK ボタンをクリック

### 98プレーヤの削除

次の手順で98プレーヤを削除します。

- 「 削除の準備」の手順1~4を行う(了P.61)
- 2 [インストールと削除 画面の一覧から 98プレーヤ をクリックし、[追加と削除 jボ タンをクリック
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」 と表示されたら「はい」ボタンをクリック 削除が始まります。
- 4 「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は「すべていいえ」ボタンをクリック
- 5 「アンインストールが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリック

## DMIT00Lの削除

DMITOOL WWW Extensionをセットアップしていない場合には、7の手順から初めてください。

- PWS(Personal Web Server を停止する)
- 2 「 削除の準備」の手順1~4を行う( P.61 )
- 「インストールと削除 」画面の一覧から DMITOOL WWW Extension をクリック
   久 反転表示 し、[追加と削除 」ボタンをクリック
- 4 DMITOOL WWW Extention常駐プログラム終了を確認する画面が表示されたら、[OK ボタンをクリック
- 5 PWSプログラム終了を確認する画面が表示されたら[OK]ボタンをクリック
- [ファイル削除の確認 ]画面が表示されたら、[はい]ボタンをクリック
   DMITOOL WWW Extensionプログラムの削除が開始されます。
- 7 DMITOOL関連のアプリケーションが起動されていないことを確認する 次のアプリケーションがDMITOOL関連のアプリケーションです。
  - ・システムビューア
  - 状態監視
  - ・リモートビューア
  - ・MIFブラウザ
  - ・BIOSブラウザ
  - ・リモート電源制御
  - ・ 休眠ファイル



- 9 [ インストールと削除 画面の一覧から[ DMITOOL をクリック( 反転表示 )し、[ 追加と削除 ボタンをクリック
- ▲□ [DMITOOL削除 」画面が表示されるので、[OK ボタンをクリック
- **11** [ファイル削除の確認 」画面が表示されたら[はい)ボタンをクリック プログラムの削除が開始されます。



[いいえ を選択し、削除を中断した場合には、システムを再起動してから DMITOOLを使用してください。

- 12 削除を開始して間もなく共有ファイルの削除を確認する画面が表示されたら、必 ず すべていいえ ボタンをクリック
- ┦3 [ コンピュータからプログラムを削除 画面に「アンインストールが完了しました。」と 表示されたら OK ボタンをクリック
- Backupの削除 Mastv Data
  - Masty Data Backupを終了させる タスクバーの右下に時計アイコンが存在する場合は、時計アイコン上で右クリック して、「閉じる」をクリックしてください。 次に、タスクバーのMasty Data Backupを右クリックし「閉じる」を選び、終了 してください。
  - 2 削除の準備」の手順1~4を行う(了P.61)

  - 🞅 [インストールと削除」画面の一覧から「Masty Data Backup/F」を選び、[追加] と削除 ボタンをクリック
  - 画面の指示に従い、削除をおこなう <u>а</u>
- アンインストーラ、アンインストールをするプログラムは、Windows 98の 登録情報とプログラムファイルを削除します。お客様が作成されたログファ イル等は削除しません。このため、アンインストーラがディレクトリの削除に 失敗することがあります。この場合には、エクスプローラ、またはファイルマ ネージャなどを使用して削除してください。
- ・ 再セットアップ時以外にMasty Data Backupにて作成されるファイルに はログファイル以外にもいくつかあります。ログファイル以外は全て隠しファ イルとなっています。

### VirusScanの削除

- 削除の準備」の手順1~4を行う(P.61)
- 2 [ インストールと削除 画面の一覧から McAfee VirusScan v3.1.6 プレインス トール版)をクリッグ反転表示して追加と削除ボタンをクリック
- 3 「McAfeeVirusScanの削除が選択されました、本当にMcAfee VirusScanを 削除しますか?」と表示されたら」はい ボタンをクリック
- Д 「削除後はシステムを再起動することをお勧めします。続行しますか?」と表示され たら はい ボタンをクリック

加

5 「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたら[すべていいえ」ボタンをクリック 6 「アンインストールが完了しました」と表示されたら(OK」ボタンをクリック 7 コンピュータを再起動する

## アンインストール機能を使って削除する

pcANYWHERE32 EXの削除

【
スタートボタン [プログラム] [pcANYWHERE32 EX ] [pcANYWHERE32] EXの削除をクリック



2 [ファイル削除の確認 画面で、[はい ボタンをクリック



共有ファイルの削除を確認する画面が表示された場合、「 すべてはい ボタン をクリックしてください。すぐに削除の継続を確認する画面が表示されるので、 [はい ボタンをクリックしてください。





共有コンポーネントの削除を確認する画面が表示された場合、すべて はい 1 ボタンをクリックしてください。

「pcANYWHEREはコンピュータからインストール解除されました。今すぐに再ブ Δ ートしますか?」というメッセージが表示されるので、[はい]ボタンをクリック 自動的に再起動されます。

以上で削除は完了です。



#### NEC Soft MPEG1.0を削除する

NEC Soft MPEG1.0の削除はコントロールパネル Jの[マルチメディア を使用して行います。

- 動作中のアプリケーションをすべて終了する
- 2 [スタート ボタン [設定][コントロールパネル をクリック
- 3 [マルチメディア アイコンをダブルクリック
- **4** マルチメディアのプロパティから(デバイス)タブをクリック
- 5 [メディアコントロールデバイス]の左のプラス記号(+)をクリック デバイスドライバの一覧が表示されます。
- [NEC Soft MPEG1.0 をダブルクリックし、[NEC Soft MPEG1.0のプロパティ)で[削除 ボタンをクリック
- 7 削除の確認ダイアログボックスが表示されるので、[はい」ボタンをクリック
- [デバイスは削除されました 画面が表示されたら、[ OK ボタンをクリック
- 割除後、再起動を促すメッセージが表示されたら[OK]ボタンをクリック Windowsが再起動します。

以上で削除は完了です。

添付アプリケーションの削除と追

加

# アプリケーションを追加する

アプリケーションを追加する場合の手順について説明します。



- ・「バックアップCD-ROM」から、削除したアプリケーションを追加する場合 は、アプリケーションのアイコン登録先が、工場出荷時と同じ状態に設定されないことがあります。
- ・ハードディスクの内容を工場出荷時の状態に戻す場合は「Part 4 Windows 98と添付アプリケーションの再セットアップ をご覧ください。

#### プロダクトの選択

- Windows98を起動する
- 2 CD-ROMドライブに本機添付の「バックアップCD-ROM」をセット
- 3 [スタート ボタン [設定] [コントロールパネル をクリック
- Ⅰ [アプリケーションの追加と削除 をダブルクリック
- 「 [ インストールと削除 タブをクリック
- [インストール ボタンをクリック
   [フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール が表示されます。
- 7 「バックアップCD-ROM」がCD-ROMドライブにセットされていることを確認し、 [フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール]の画面で[次へ]ボタンを クリック
- 8 [ インストールプログラムの実行 画面の「インストールプログラムのコマンドライン」 が「 < CD - ROMドライブ名 > : ¥NSETUP.EXE 」になっていることを確認し、[ 完 了 ボタンをクリック
- 9 [プロダクトの選択]画面が表示される

この画面で次のアプリケーションを追加できます。

- 98Timer
- ・98プレーヤ
- DMITOOL
- Masty Data Backup/F
- ・ McAfee Virus Scan V3.1.6(プレインストール版)
- pcANYWHERE32 EX
- ユースフルパックセットアップ

### ユースフルパックの追加

インストールする機能の概要、インストールに必要なハードディスク容量、および追加の手順について説明します。インストールの前に、使ってみたい機能があるかどうかを確認してください。

機能の概要

・98環境設定ユーティリティ

本機の状態を設定するメモリスイッチを変更することができます。 使い方については『ステップアップガイド』をご覧ください。

・英語モードフォント

日本語モードフォントのままで、海外製Windows98アプリケーションをWindows 98 で利用する場合、使用するフォントの一部を英語モードフォントに切り 替えることにより、正しく表示します。使い方については、Part2の「英語モードフ ォントを使用する」をご覧ください。

・DOS APインストーラ

MS-DOSアプリケーションのインストールをサポートするユーティリティです。Windows 98でも、MS-DOSのアプリケーションを使いたい場合に便利な機能です。 使い方については、Part2の「DOS APインストーラ」をご覧ください。

・DOSコマンド

Windows 98のMS-DOSモードで使用できるコマンドです。グラフィックドライバや サウンドドライバなどがあります。

MS-DOSモードで動作するアプリケーションを、使用する場合などに便利です。 使い方については『ステップアップガイド』をご覧ください。

・DOS環境設定ユーティリティ

MS-DOSモード時に使用するCONFIG.SYSやAUTOEXEC.BATの編集ができま す。従来からのMS-DOSの環境やMS-DOSアプリケーションを引き続き、本 機でも使用したい場合に、便利な機能です。詳しくば、ステップアップガイド」をご 覧ください。

・NECAI FEP MS-DOSプロンプト用NECAI FEPを追加します。

セッ	ノト	アッ	ヮプ	に必要なノ	۱ – ۱	ドデ	้า	スク	'容量
----	----	----	----	-------	-------	----	----	----	-----

DOSコマンド	約0.5Mバイト*
MS-DOSモード用グラフィックドライバ	約0.1Mバイト
MS-DOSモード用サウンドドライバ	約0.1Mバイト
MS-DOSモード用基本グラフィックドライバ	約0.3Mバイト
NECAI FEP	約2.6Mバイト
USKCGMコマンド	約0.1Mバイト

7

ユースフルパックユーティリティ	約0.7Mバ <del>1</del> *
98環境設定ユーティリティ	約0.2Mバイト
DOS APインストーラ	約0.3Mバイト
DOS環境設定ユーティリティ	約0.2Mバイト

\*各合計値

ユースフルパックを追加する

- 「 プロダクトの選択」の手順1~9を行う(了P.68)
- 2 [プロダクトの選択 画面 で ユースフルパックセットアップ をクリック 反転表示 して、[OK ボタンをクリック
- 3 表示された画面で 次へ ボタンをクリック

2 [セットアップ方法 ]D選択画面が表示されます。[標準 または カスタム を選択する]

- ・[標準]を選択した場合 以下のプログラム一覧の()がついたプログラムだけが追加されます。
- 「カスタム を選択した場合 セットアップしたいプログラムを、1つずつ選択できます。
   DOSコマンド MS-DOSモード用グラフィックドライバ MS-DOSモード用サウンドドライバ (Mate-X/CanBeシリーズ用サウンドドライバ) MS-DOSモード用基本グラフィックドライバ NECAI FEP USKCGMコマンド
   ユースフルパックユーティリティ 98環境設定ユーティリティ ) DOS APインストーラ )
- 5 [標準 または カスタム を選択したら [次へ ボタンをクリック
  - ・ [ 標準 を選択した場合 表示された画面で、そのまま 次へ ボタンをクリック アプリケーションの追加がはじまります。
  - ・ [カスタム を選択した場合 表示された画面で、追加したいアプリケーションのチェックボックスをクリック(チ ェックボックスにチェックマークをつける して、[次へ ]ボタンをクリック 選択したアプリケーションの追加がはじまります。



[詳細 ボタンが表示されている場合は、それぞれのアプリケーションに含まれる機能を個別に追加できますが、お使いの環境によっては、[DOSコマンド] 中に、選択できない機能があります。



- ・途中で「コピー先に新しい日付のファイルが存在します。上書きしてよろし いですか」のメッセージが表示された場合、[いいえ を選択してください。
- ・「このファイルはWindowsが使用中または書き込み禁止であるため上書 きできません」のメッセージが表示されても、問題はありませんので、[OK] ボタンをクリックし、そのまま作業を継続してください。
- 「セットアップが完了しました」と表示されたら、[完了」ボタンをクリック システム設定が変更された場合、再起動を促すメッセージが表されます。 [はい]を選択して、システムを再起動してください。

#### DMIT00Lの追加

- 「 プロダクトの選択」の手順1~9を行う(了P.68)
- 2 [ プロダクトの選択 画面で「DMITOOL をクリック(反転表示)し、[ OK ボタンを クリック
- 3 [ようこそ 画面が表示されるので、指示に従い[次へ ボタンをクリック
- 【 ご 登録 画面が表示されるので、あなたの名前と会社名を入力して 次へ ボタンを クリック プログラムのインストールが開始されます。
- 5 [情報 画面が表示されるので、[ 0K ボタンをクリック
- Windowsを再起動する

98Timerの追加

- 「 プロダクトの選択」の手順1~9を行う(了P.68)
- 2 [プロダクトの選択 画面で「98Timer をクリックし、[OK ボタンをクリック
- 3 「98Timerのセットアップを始めます。」と表示されるので、[OK ボタンをクリック
- 4 パソコンの絵が描かれているボタンをクリック インスト - ルが始まります。
- 5 「98Timerのセットアップが完了しました。」と表示されたら[OK ボタンをクリック

#### 98 プレーヤの追加

- 「 プロダクトの選択」の手順で1~9を行う(字P.68)
- 2 「 プロダクトの選択」画面で「98プレーヤ」をクリックし、[ OK ボタンをクリック
- 「ようこそ!98プレーヤの世界へ」の画面が表示されたら[次へ ボタンをクリック]
- 「Folder Selection」で次へをクリック インストールが始まります。
- 5 「98プレーヤは正しくインストールされました。プログラムグループからアイコンを選択してご使用ください。」と表示されたら[0K]ボタンをクリック

pcANYWHERE32 EXの追加

- プロダクトの選択」の手順1~9を行う(③P.68)
- 2 [プロダクトの選択 画面で pcANYWHERE32 EX をクリック(反転表示)し、 [OK ボタンをクリック
- こここそ 画面が表示されたら [次へ ボタンをクリック
- Ⅰ [ユーザーの情報 ]画面で名前と会社名を入力し、[次へ ]ボタンをクリック
- 5 [オンライン使用許諾契約 画面が表示されたら、契約内容をよくお読みになり同意の上、[はい]ボタンをクリック
- 「セットアップは次のフォルダにpcANYWHERE32をインストールします。」と表示 されたら、[次へ」ボタンをクリック
- 7 [セットアップレビュー 画面で、[次へ ボタンをクリック ファイルのコピーが始まります。
- 「セットアップの完了」と表示されたら、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」 がチェックされていることを確認し、[終了]ボタンをクリック 自動的に再起動されます。

以上でインストールは完了です。

#### NEC Soft MPEG1.0を追加する

NEC Soft MPEG1.0の追加はコントロールパネル Jの[ハードウェアの追加]を使用して行います。

CD-ROMドライブに本機添付の「バックアップCD-ROM」をセットする



- 2 [スタート ボタン [設定][コントロールパネル をクリック
- 3 [ハードウェアの追加 アイコンをダブルクリック [新しいハードウェアの追加ウイザード を起動します。
- [次へ ボタンをクリック
- 5 [次へ ボタンをクリック
- 「 [ いいえ( 一覧から選択する ) をクリックし、[ 次へ )ボタンをクリック
- 7 [ハードウェアの種類 から サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ をダブ ルクリック
- [ディスク使用 ボタンをクリック
- 「ディスクからインストール」ダイアログボックスでコマンドラインに < CD ROMドライ ブ名 > : ¥NECMPEGと入力し、[OK]ボタンをクリック
- **1** [デバイスの選択 画面に NEC Soft MPEG1.0 上表示されるので、[OK ボタ ンをクリック
- **11** [ 完了 ボタンをクリック ファイルのコピーが開始されます。
- **12** ファイルのコピー終了後,再起動を促すメッセージが表示されたらにはい ボタンを クリック Windowsが再起動します。

以上でNEC Soft MPEG1.0が追加されます。

- VirusScanの追加
  - 「 プロダクトの選択」の手順1~9を行う(了P.68)
  - 2 [プロダクトの選択 画面で McAfee VirusScan v3.1.6(プレインストール版)] をクリック(反転表示 し、[OK ボタンをクリック)
  - 3 [セットアップへようこそ 画面で[次へ ボタンをクリック
  - 4 使用許諾契約書が表示されるので、よくお読みになり、同意する場合は、[はい」ボタンをクリック
  - 5 [セットアップ方法 画面で カスタム をクリック、インストール先ディレクトリを選択し、 [次へ ボタンをクリック



- [コンポーネントの選択 画面が表示されたら、[次へ ボタンをクリック
- 7 [オプションの選択 画面が表示されたら、[次へ )ボタンをクリック
- 8

[DOSスキャナインストールオプション選択 j画面が表示されたら、[ブート時にシス テムをスキャン jチェックボックスをクリックしてチェックを外す



[ブート時にシステムをスキャン ]のチェックを外さずにインストールした場合、 MS-DOS用アプリケーションが動作しなくなる場合があります。



- エマージェンシーディスクは、[スタート )ボタン [プログラム] [McAfee VirusScan] [エマージェンシーディスク作成 )をクリックして作成することが できます。 詳しくは、Part1の「コンピュータウイルスに備える~Virus Scan」の「エマージ ェンシーディスクを作成する」をご覧ください。
- 1 [次へ」ボタンをクリック
- ┩┦ [ プログラムフォルダの選択 ]画面が表示されたら、[ 次へ ]ボタンをクリック
- 12 [ インストール設定の確認 画面が表示されたら、[ 次へ ボタンをクリック
- 13 「システム領域のスキャンが完了しました」のメッセージが表示されたら、[ OK ボタ ンをクリック



「この製品についての最新の情報を表示しますか?」のメッセージが表示され ます。最新の情報を読む場合[はい)ボタンを、読まない場合は[いいえ]ボタン をクリックしてください。 最新の情報は[スタート]ボタン [プログラム] [McAfee VirusScan] [ウ

イルスデータベースの内容をクリックして読むことができます。

14 [ インストールが完了しました 画面が表示されるので、「はい、直ちにコンピュータを 再起動します。 を選択し、[ 終了 )ボタンをクリック

これでインストールは完了です。



Masty Data Backup の追加

- 「 プロダクトの選択」の手順1~9を行う(了P.68)
- 2 [プロダクトの選択 画面で Masty Data Backup/F をクリック 反転表示 し、 [0K ボタンをクリック
- 3 画面の指示に従ってセットアップを行う
- 4 [ インストール先の選択 アディレクトルを変更する場合は指定する 「セットアップが完了しました。」というメッセージが表示されたらセットアップは終了 です。

## Part 4

# Windows 98と 添付アプリケーション の再セットアップ

本機に添付されている「インストールディスク」や「バックアップCD-ROM」を使って、 本機のシステムやアプリケーションを復元する方法を説明しています。

なお、「再セットアップする前に」は必ずお読みください。

再セットアップする前に

Windows 98を再セットアップする

Windows 98差分モジュールのアップデート

ハードディスクを初期化する

## 再セットアップする前に

ここでは、再セットアップを行う際に必要な情報や注意事項について説明しています。

再セットアップを始める前に必ずお読みください。

#### 再セットアップが必要になるとき

次のような状況のときに、本機を再セットアップしてください。

- ハードディスク内のシステムが壊れてしまった
- ・ ハードディスク内のシステムファイルを誤って消してしまった
- ・ 電源を入れても、システムが起動しない
- ・スキャンディスクを使っても修復できない
- ・ Safeモードを起動しても問題が解決しない
- ・ 本機内蔵のハードディスクを購入時と異なるドライブ構成で使いたい

#### 再セットアップに関する注意

- ・ 再セットアップを行う場合、本機を購入後にお客様が接続した周辺機器を全て外して 再セットアップを実行してください。
- ・バックアップCD-ROMで再セットアップできるのは、本機に標準で添付されていたソフトウェアのみです。お客様ご自身が、後からインストールされたアプリケーションや、作成されたデータは復元されません。お客様ご自身が後から変更した設定やデータはすべて消え初期状態に戻ります。本機を購入後、お客様が接続した周辺機器の設定はシステムの再セットアップ後にもう一度、設定し直してください。周辺機器の設定については『Microsoft® Windows® 98ファーストステップガイド』または、『ステップアップガイド』や周辺機器のマニュアルをご覧ください。また、再セットアップを行う前に大切なデータは必ずバックアップをとっておいてください。
- ・再セットアップ中は、フロッピーディスクから Windows 98 再セットアップ を起動して
   行うようになっているため、次のようなドライブ構成となります。

フロッピーディスクドライブ	Aドライブ
ハードディスクの第1パーティション	Bドライブ
CD-ROMドライブ	Zドライブ

・26バイト以上のハードディスクを搭載した機種でパーティションを再分割する場合、領 域確保できるパーティションあたりの最大サイズは2047Mバイトです。 また、2047Mバイトを超える場合は、複数のパーティションに分割されます。

- 本機にインストールされているアプリケーションの中には、それぞれ個々に削除したり
   追加したりできるものもあります。詳しくば Part 3 添付アプリケーションの削除と追加 をご覧ください。
- ・バックアップには約70分かかります。画面の内容を読んだり、確認するのにかかる時間によっては、これより長くなることがあります。

### 準備するもの

本機に添付されている、次のCD-ROM、フロッピーディスク、マニュアルを準備してください。

- Windows 98 CD-ROM
- ・ Windows 98 CD-ROMセットアップ起動ディスク
- ・ バックアップCD-ROM
- ・インストールディスク
- ・ Microsoft Windows 98ファーストステップガイド

## 必要なハードディスクの空き容量

再セットアップには、ハードディスクに、以下の容量が必要になります。

•	PC-9821Ra266/M30R	650Mバイト以上
•	PC-9821Xa200/M30R	650Mバイト以上

## 再セットアップの流れ

セットアップの流れは、次のようになります。



## 再セットアップするディスクの構成

セットアップした後のハードディスクとフロッピーディスクのドライブ名は例のようになります。

例1	工場出荷時とまったく同じように再セットアップした場合
	ハードディスク フロッピーディスク
	A
例2	工場出荷時と異なった構成で初期化後、2番目の領域にWindows 98のシス テムを再セットアップした場合
	A B
例3	領域を1つのみ確保した場合
	A
例4	セットアップモードの選択で「Cドライブブートセットアップ」を選択した 場合
	C A
で打 ア・	指定した1ドライブのみにWindows 98と添付アプリケーションを再セット ップします。

## Windows 98を再セットアップする





「既にオペレーティングシステムがインストールされています。....と表示され、 工場出荷時と同じ状態でのみ再セットアップしたい場合は、以下の手順でハ ードディスクの領域の削除のみを行ってください。



コマンドプロンプトから以下のように入力します。

A:FDISK 🕗

FDISKコマンドが起動して「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか」 と表示されるので、[N]キーを入力し、 (シー)キーを押す





[FDISK オプション 画面が表示されるので、③キー入力し、 (4)キーを押す



[領域を削除]画面が表示されるので、[現在の装置]こWindows 98をインストールする領域の番号が選択されていることを確認して1キー入力し、 (デー)キーを押す



[MS-DOS 領域を削除 )画面が表示されるので、[現在の装置 ]こWindows 98をインストールする領域の番号を入力し、 (ح) キーを押す

			MS-DOS	領域を削	除
現在の装置: 1					
領域 状態 A: 1 アクティフ	<u>ئېت</u> 4名 XXXXXXXXXXXXXXXX	M/ 1F XXXX :	۶Z XXXX	使用 XX%	<u>B0</u> 0T 可
装置の総容量は	XXXX Mバイトです.(	1 Mバイト=10	48576 パー	ቡ)	
注意! 削除した N どの領域を削除しま	S-DOS 領域のデータ  ますか	はなくなります ?	[1]		
FI	DISK オプションに戻る	SICIL ESC 4	テーを押して	ください.	



MS-DOS領域が存在しない状態で[MS-DOS を選択する、または、非 MS-DOS領域が存在しない状態で「非MS-DOS領域 を選択すると、 「削除するXXX領域はありません」と表示されます。

この場合、[ESC]キーを押すと手順の画面に戻ります。再度、手順 、 をやり直してください。

非MS-DOS領域とは、MS-DOSまたはWindows 98で直接利用でき ない形式でフォーマットされた領域です。

「よろしいですか」と表示されるので、「アーキーを押し、「」」キーを押す



・システムがセットアップされていた領域は、必ず削除してください。それ 以外の領域を削除する必要はありません。その場合は、ESC キーを押 して FDISK オプション に戻ってください。

・ ブート可の領域が複数ある場合は 固定ディスクメニューが表示されます。

領域の削除が完了したら、 [ESC]キーを押して FDISK オプション を終了する 変更を有効にするために、本体の電源スイッチを押して再起動する



Windows 98をインストールする領域は、状態が「アクティブ」BOOT が 可」になっていることを手順 び2.状態を変更 を選択し、確認ま たは変更してください。



5 セットアップモードを選択する画面が表示されますので、 ↑↑ ↓ キーで 標準セッ トアップを選択し、 🖓 キーを押す

C ドライブ ブート セットアップを使う場合は、[C ドライブ ブート セットアップ を選 択してください。

Microsoft Windows 98 セットアップ
セットアップ モードを選択してください。
標準セットアップ C ドライブ ブート セットアップ
選択を決定するには、Enter キーを押してください。 選択を変更するには、上下の方向キーを使って移動し、Enterキー押してください。
- Enter=続行 F1=ヘルプ F3=中止



・工場出荷時と同じ状態に戻す場合は、必ず「標準セットアップ」を選択してく ださい。

・ディスク領域を分割してある場合は、次の画面が表示されますので、セット アップするパーティションを選択してください。

シットアップするパー	ティションを選/	 んでください	l₀ _* I	
97777日	<b></b>	MB	7-1	
XXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXX	アクティブ アクティブ	XXXX XXXX	有効 有効	
また決定するには	t.Enter≠—を	押してくだる	žι\	
記る亦由オストト	、 上下の方向=	Fーを使って	移動し、Enterも	ーを押してくださ
511/2友丈りるには				
stille友丈 y Sicle				
SUCCE YOLL				
SUCCE SOLIE			2200(200000	



・[Cドライブブート セットアップを選択した場合は表示されません。



[ 標準セットアップ ]を選択すると、Windows 98をセットアップするドライブや、 ドライブ構成を任意に指定することができます。

[Cドライブ ブート セットアップ を選択すると、第1ハードディスクの第1パー ティションのみにセットアップできます。

また、この時のセットアップ後のドライブ構成は次のようになります。

・フロッピーディスクドライブ	Aドライブ
・ハードディスクドライブの第1パーティション	Cドライブ
・CD-ROMドライブ	Qドライブ

Windows 98と添付アプリケーションの再セットアップ

P art





6

Windows 98をインストールする領域がすでにフォーマットされている場合は、以降の手順6~9はありません。

7

大容量ディスクを可能にする画面が表示されるので、 ↑ ↓キーで 大容量ディ スク サポート サポートは使用しない を選択し、 ↓ キーを押す 大容量ディスクサポートを有効にする場合は、[ 大容量ディスク サポートを有効に する を選択してください。

Micros ====== 512M	oft Wi ====== B 以上0	ndows 98 ======= Oハードデ・	3 セット, ====== (スクを(	アッフ ====== 吏用してし	== ,1ます。				
大容響	量ディスク クターポス	ッサポート 右かに使	を有効   い	こしますた	)??				
より大	う領域を きなパー	ティション	い、 が定義で	きるよう	になります	す。			
大容式	量ディスク 量ディスク	, サポート , サポート	・サポー を有効	·Hは使用 こする	しない				
選択 選択 キー邦	を決定す を変更す 甲してくだ	るには、En るには、上 さい。	ter キ 下の方向	ーを押し 可キーを修	てくださし 更って移	, ヽ。 動し、E	Enter		
Ente	r=続行	F1=ヘル	プ F3:	■中止					



工場出荷時の状態に戻すには、必ず、大容量ディスク サポート サポートは使用しない を選択してください。



😫 「コンピュータを再起動します」と表示されるので、 🖓 キーを押す





再起動後に領域をフォーマットする画面が表示されます。

ハードディスク お待ちくださし	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	ています。		
ドライブ Bを	<u>Eフォーマッ</u> ト中 X% 完了			
		_		



セットアップする領域がフォーマット済みの場合は表示されません。



1 セットアップ用のファイルをコピーする画面が表示されます。

Microsoft Windows 98 セットアップ	
お待ちください。 セットアップ用のファイルをコピーしています	

1 「コンピュータを再起動します」と表示されるので、フロッピーディスクをフロッピー ディスクドライブから取り出し、

フロッピーディスクドライブから取り出してください。 Enterキーを押すと、続行します。 ter=続行	フロッピーディスクドライブから取り出してください。 Enterキーを押すと、続行します。 er=続行		コンピュータを再起動します。
Enterキーを押すと、続行します。 ter=続行	Enterキーを押すと 続行します。 er=続行		フロッピーディスクドライブから取り出してください。
ter=続行	ər=銑行 ,		Enterキーを押すと、続行します。
	ا تھر ا	* ~ * *= /=	
		101=2021J	

- 12 再起動後に、「Windowsをインストールする準備をしています。....」と表示される ので、「」キーを押す
- **13**「Windows 98 セットアップ」が起動し、「Windows 98 セットアップへようこそ」 が表示されるので、[ 続行 ]ボタンをクリック



システムのチェックとセットアップウィザードの準備が行われます。

▲ [ 使用許諾契約書 ]画面が表示されるので、[ 使用許諾契約書 ]の内容を確認し、 確認が終わったら[同意する]をクリックし、[次へ]ボタンをクリック





**15** [ プロダクトキー 画面が表示されるので、プロダクトキーを入力し、入力が終わった らこ次へ ボタンをクリック

	🚟 Windows 98 セットアップ
セットアップの準備をしています。	
マコンピュータの質	Windows 98 セットアップ
■ 軽を集めていま… す。	ブロダクト キー
Vindows 98 ファ イルをコピーして います。	構入したコンピュータに同梱されている資料もしくは Windows 38 ソフトヴェアには Microsoft Windows 38 プ
👩 ヨンピュータを再	Desiler Bis Number
━ 起動しています。	************************************
島 ハートウェアのセットアップと最終 設定を行っています。	
國    務	
33 77	<u>~ルヺ(!)</u>
Windows 98 に記載さ れているプロダクト キーを入力してくださ	
**	< 戻る(B) ※ヘン キャンセル
	· . A般 S 🗣 🖪 🖉 🚟
Microsoft	

プロダクトキーは『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』の表紙に記載されています。



- ・ 0(数字のゼロ)と0(英字のオー)1(数字の一)と1(英字のアイ)など、似ている文字を間違えないようにしてください。
- ・『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』は紛失しないように 気を付けてください。表紙に記載されているプロダクトキーがないと、再セッ トアップできません。
- 「ディレクトリの選択」画面が表示されるので、ここでは「A: ¥WINDOWS」が選択されていることを確認し、[次へ」ボタンをクリック別のディレクトリをご利用になりたい場合は、[その他のディレクトリを選択してください。なお、工場出荷時のディスク構成とは異なるディスクにインストールする場合は、A以外のディスクが表示されます。 手順5で「C ドライブ ブート セットアップ」を選択した場合は、[C: ¥WINDOWS]が選択されていることを確認してください。

工場出荷時と同じ状態に戻す場合は、必ず A:¥WINDOWS を選択してく ださい。

[ディレクトリの準備 画面が表示されます。

Windows 98と添付アプリケーションの再セットアップ

17 [ セットアップ方法 画面が表示されるので、[ カスタム をクリックし、[ 次へ ボタンを クリック



以降はカスタムを選択した場合の手順です。他の方法を選択した場合は、 表示される画面などが異なる場合があります。

**18** [ ユーザー情報 画面が表示されるので、名前、会社名を入力し、[ 次へ )ボタンをク リック



- ・ユーザー情報は、Windows 98のライセンスを受けている人の情報を入力
   してください。
  - ・ 会社名は入力しなくてもかまいません。ただし、セットアップ完了後に変更す ることはできません。
  - ・ 名前を入力しないと、次の手順に進むことはできません。
  - ここで入力した名前は、セットアップ完了後に変更することはできませんので、ご注意ください。



通常は、日本語ローマ字入力ができるようになっています。

漢字変換の例 「田中」と入力する場合

「たなか」と入力する

ローマ字入力の場合は、キーボードの 丁 A N A K A を押します。

かな入力の場合は、キーボードの [た] [な] [か] を押します。

キーボードの (スペース)キーを押す

入力した文字が漢字に変換されて 田中 のように表示されます。

変換したい漢字が表示されない場合は、キーボードの (スペース) キーを押します。

キーボードの 🕗 キーを押す

変換した漢字が確定されます。

- ・難しい読み方の名前などを入力する場合は、まず ~ の手順で「た」を変換し、次にもう一度 ~ の手順で「なか」を入力するというように、漢字1文字 ごとに区切って入力してください。
- ・ひらがなを入力して、キーボードの (スペース)キーを押さずに (4) キーを押すと、ひらがなのまま確定することができます。
- ・間違えて入力してしまった場合は、BS キーを押すことで1文字ずつ削除する ことができます。

キーボードに関する詳細な説明は『ステップアップガイド』の「キーボード」をご覧 ください。

19 [ インストールするファイル 画面が表示されるので、再セットアップしたいファイルを 選択し、[次へ」ボタンをクリック

> 工場出荷時と同じ状態に戻す場合は、必ず何も変更しないで「次へ ボタンを クリックしてください。



- ここで選択しなかったオプションについても、再セットアップ後に、「スタートボタ ン 「設定1「コントロールパネル1の「アプリケーションの削除と追加1で組み込 むことができます。
- ・ 手順17 で「標準 はよび「コンパクト」を選択した場合は、「インストールするファイ ル 画面は表示されず、「Windows ファイルの選択 画面が表示されるので、「イン ストールするオプションファイル選択する を選択すると、「カスタム を選択した場 合と同じようにWindows ファイルがインストールできます。
- 20 [識別情報 画面が表示されるので、コンピュータ名、ワークグループ名、コンピュー タの説明を入力し、「次へ ボタンをクリック





21 [コンピュータの設定 画面が表示されるので、[次へ ボタンをクリック



手順17 で 標準 」および コンパクト を選択した場合は、[ コンピュータの設定 ] 画面は表示されません。

22 [地域の選択]画面が表示されるので、[日本]が選択されていることを確認し、[次 へ ボタンをクリック



23 [起動ディスク 画面が表示されますので、[次へ ボタンをクリック



24 [ ディスクの挿入 画面が表示されるので、[ キャンセル をクリック



「Windows 98 CD-ROMセットアップ起動ディスク」というフロッピーディ スクが本機に添付されていますので、再セットアップに使用するために新たに 「Windows 98起動ディスクを作成する必要はありません。

- **25** [コピー開始 ]画面が表示されるので、[次へ )ボタンをクリック 「Windows 98 ファイルをコピーしています」と表示されます。 Windows 98の機能の説明が次々と表示されます。 [再起動 ]画面が表示され、自動的に再起動されます。
- 26 [日付と時刻のプロパティ 画面が表示されるので、[閉じる ボタンをクリック 再起動後、[ハードウェアの設定 画面や[Windows 98 セットアップ ]画面などが 表示されます。
- 27 [再起動]画面が表示され、自動的に再起動されます。
- 28 [ネットワークパスワードの入力 画面が表示されるので、ネットワークパスワードを入力し、[0K ボタンをクリック



パスワードを指定した場合は、再セットアップ後、Windowsを起動するたびに パスワードの入力画面が表示されます。指定したパスワードは忘れないように 覚えておいてください。

- 29 [Windowsパスワードの設定 画面が表示されるので、[新しいパスワードの確認 入力 に再度パスワードを入力し、「 OK ボタンをクリック
- 30 [新しいハードウェアの追加ウィザード 画面が表示される場合は、[次へ ボタンを クリック

ここでは、お使いのディスプレイがプラグ&プレイに対応しているものとして説明し ています。



3 ドライバの検索方法を選択する画面が表示されるので、[使用中のデバイスに最 適なドライバを検索する(推奨)が選択されていることを確認し、「次へ ボタンをク リック





32 ドライバの場所を設定する画面が表示されるので、[次へ」ボタンをクリック

 < 戻る(B) 次へ > キャンセル



33 デバイスドライバのファイルを検索する画面が表示されるので、[次へ」ボタンをクリ ック



34 デバイスドライバのインストールが完了した画面が表示されるので、[完了 ボタンを クリック



これでWindows 98のセットアップは完了しました。「Windows 98 CD-ROM」 をCD-ROMドライブから取り出し、Windows 98を終了して「Windows 98差 分モジュールのアップデート」へ進んでください。

Windows 98差分モジュールの アップデート

インストールディスク をフロッピーディスクドライブにセット
 本機の電源スイッチを押して電源を入れる
 すぐに「バックアップCD-ROM」をCD-ROMドライブにセット
 [Microsoft Windows 98 Setup 画面が表示されるので、 (-)+ーを押す





セットアップするパーティションを選択する画面が表示されるので、↑ ↓キーでパ ーティションを選択し、 ↓ キーを押す

icrosoft Windows 98 Setup 	   Windows 98 再セット]	マップ
2. サアップするパーティションを選んでください。 システム名 種類 サイズ(MB) XXXXXXXXXX XXXX XXXX 選択を決定するには、Enterキーを押してください。 選択を変更するには、上下の方向キーを使って移動し、Enter キーを押してください。	icrosoft Windows 98 Setup	
システム名 種類 サイズ MB) XXXXXXXXXX XXXX XXXX 選択を決定するには、Enterキーを押してください。 選択を変更するには、上下の方向キーを使って移動し、Enter キーを押してください。	シトアップするパーティションを選んでください。	
XXXXXXXXXX XXXX XXXX 選択を決定するには、Enterキーを押してください。 選択を変更するには、上下の方向キーを使って移動し、Enter キーを押してください。	システム名 種類 サイズ(MB)	
選択を決定するには、Enterキーを押してください。 選択を変更するには、上下の方向キーを使って移動し、Enter キーを押してください。	XXXXXXXXX XXXX XXXX	
選択を変更するには、上下の方向キーを使って移動し、Enter キーを押してください。	選択を決定するには、Enterキーを押してください。	
	選択を変更するには、上下の方向キーを使って移動 キーを押してください。	ll, Enter
6

### 次の画面が表示されるので、この場合はESCキーを押す Cドライブブートのセットアップの場合は、「f・9」キーを押してください。

Windows 98 再セットアップ
Microsoft Windows 98 Setup
選択したドライブが、Cドライブブートセットアップの場合は、
[ f・9 注一を押してください。
通常のドライブセットアップの場合は、ESCキーを押してください。

設定の確認、ファイルのコピー、システムの構成が行われます。機種によって異な りますが、約10分かかります。

次の画面が表示されるので、「インストールディスクをフロッピーディスクドライブか ら取り出し、「」キーを押す

Windows 98 再セットアップ	
Microsoft Windows 98 Setup	
セットアップは終了しました。コンピュータを再起動します。	
Windows 98 再セットアップ起動ディスクを フロッビーディスクドライブから取り出してください	
Enterキーを押すと 続行します。	

7

- Windows 98が再起動し、[Windowsパスワードの入力 画面が表示されるの で、パスワードを入力し、[0K]ボタンをクリック
- 「 [新しいパスワードの確認入力 ]こ再度パスワードを入力し、[ OK 」ボタンをクリック

10 [新しいハードウェアの追加ウィザード 画面が表示される場合は、[次へ ボタンを クリック

ここでは、お使いのディスプレイがプラグ&プレイに対応しているものとして説明しています。



11 ドライバの検索方法を選択する画面が表示されるので、[使用中のデバイスに最 適なドライバを検索する(推奨)」が選択されていることを確認し、[次へ」ボタンをク リック

新しいハードウェアの追加ウィザー	۲
	検索方法を選択してたさい。
	〈戻る(8) 次へ〉 キャンセル

12 ドライバの場所を設定する画面が表示されるので、[次へ」ボタンをクリック



**13** デバイスドライバのファイルを検索する画面が表示されるので、[次へ ボタンをクリック









これでWindows 98差分モジュールのアップデートは完了しました。「バックアッ プCD-ROM」をCD-ROMドライブから取り出してください。本機に添付している アプリケーションを使用したい場合は、「Part3 添付アプリケーションの削除と追 加」の「アプリケーションを追加する」へ進んでください。

# ハードディスクを初期化する

ハードディスクのドライブを再分割して、領域のサイズをご自分で設定されたい方は次の 手順でハードディスクの初期化を行ってください。

- ・ 領域を削除する
- ・領域を確保する
- ・ドライブをフォーマットする

### 領域を削除する.....

ハードディスクの初期化を行うこは、まず再セットアップ先となるドライブの領域の削除の 作業が必要です。

ハードディスクのすべての領域を削除すると、お客様がセットアップしたシステムやアプリケーション、データファイルはすべて削除されます。
 大切なデータやファイルがある場合は、必ずフロッピーディスクなどに保存してください。

- 本体の電源を入れた後、すぐに「Windows 98 CD-ROMセットアップ起動ディスクをフロッピーディスクドライブにセットする
- 2 コマンドプロンプトから以下のように入力します。

FDISK Ә

3 「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか(Y/N)......?」と表示されたら、Nキーを押して (J) キーを押す

512 MB以上のディスクがあります.
このパージョンの Windows では、このような大容量ディスク のサポートが強化され、より効率のよいディスクギ川中とより 大きな領域の定義ができるようになりました。これいパージョ ンの MS-DOS、Windows、ディスク ユーティリティなどはこの 大容量ディスク サポートを使用して作成された領域にはアク セスできません.
複数のオペレーティング システム、または異なるバージョンのオペレーティング システムをデュアル ブートする場合は、このサポートは使用しないでください.
大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか(Y/N0? 📳



Γ

ここでは、通常「N」を選択してください。FAT32で領域をご利用になりたい場 合は、「Y を選択してください。

▲ [3.領域を削除 を選択して 🖓 キーを押す

FDISK オブション
現在の装置: 1
次のうちからどれか選んでください:
1. MS-DOS 領域を作成 2. 状態を変更 3. 領域を削除 4. 領域情報を表示
どれか選んでください: [1]
FDISK を終了するには ESC キーを押してください



周辺機器の接続状況によって、表示される画面は多少異なります。



5 [1 MS-DOS領域を削除 または 2 非MS-DOS領域を削除 ]のどちらかを選択 した後、🖓 キーを押す

Windows 98を使用していた領域は、MS-DOS領域ですので、通常は[1 MS-DOS領域を削除 を選択してください。

領域を削除
現在の装置: 1
次のうちからどれか選んでください
1. MS-DOS 領域を削除 2. 非 MS-DOS 領域を削除
どれか選んでください: [ ]
FDISK オブションに戻るには ESC キーを押してください



#### 6

削除する領域を選択し、 🖓 キーを押す

		MS-D0	DS 領域を)	削除			
現在の	装置: 1						
領域 B: 1 C: 2	状態 アクティブ アクティブ	沙石名 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	MA*7E XXX XXX	97774 FAT16 FAT16 FAT16	使用 >>>% >>>%	BOOT 可 不可	
** 学の松交号け VVV リポイトです (1リポイト_10,00.572 パイト)							
表面の総合量は AAA mATTC9. (mAAT=10403707(11)) 注意:削除した MS-D00 領域のデータはなくなります. どの領域を削除しますか. ? [1]							
FDISK	オプショ	ンに戻るには ESC:	キーを押し	してください	η.		



MS-DOS領域が存在しない状態で[MS-DOS領域を削除 を選択する、また は、非MS-DOS領域が存在しない状態で[非MS-DOS領域を削除 を選択 すると、[削除するXXX領域はありません と表示されます。

お使いのシステムの状況によって、表示される画面は多少異なります。

この場合、ESC キーを押すと手順4の画面に戻ります。再度、手順4、5をやりなおしてください。

非MS-DOS領域とは、MS-DOSまたはWindows 98で直接利用できない 形式でフォーマットされた領域のことです。

次のようなメッセージが表示されます。

よろしいですか(Y/N)......?



Y キーを押し、続けて 
 ← ● キーを押す
 領域が削除されます。
 削除したい領域が複数ある場合は、手順6~7を繰り返してください。



システムがセットアップされていた領域は必ず削除してください。それ以外の 領域を削除する必要はありません。 その場合は、ESC キーを押して FDISKオプション ]の画面に戻ってくださ

L 10

Windows 98と添付アプリケーションの再セットアップ

Part t

9 領域の削除が終了したら、 ESC キーを押す 「FDISKオプション」画面が表示されます。

FDISK オブション	
現在の装置: 1	
次のうちからどれか選んでください。	
1. MS-DOS 領域を作成 2. 状態を変更 3. 領域常御除 4. 領域情報を表示	
どれか選んでください: [1]	
FDISK を終了するには ESC キーを押してください	

次に「領域を確保する」に進んでください。

## 領域を確保する.....

一度削除した領域は、領域を確保する作業が必要になります。領域は削除した領域の 容量だけ確保することができます。

ハードディスク内の容量が2Gバイト以下で、すべての領域が削除されていれば、1つの 領域として確保することもできます。また、領域は複数に分割することもできます。

### 例1 最大サイズを割りあてる

・ハードディスクの容量が1000Mバイトある場合

Aドライブ 1000Mバイト

#### ・ハードディスクの容量が3000Mバイトある場合

Aドライブ	Bドライブ
2047Mバイト	983Mバイト



### 例2 2つの領域に分割する

#### ・ハードディスクの容量が3000Mバイトある場合

Aドライブ	Bドライブ
1800Mバイト	1200Mバイト





ハードディスクを複数に分割した場合、1番目の領域を第1パーティションといいます。

ハードディスクの領域を確保する手順について説明します。

- 「FDISKオプション」の画面で、[1 MS-DOS領域を作成 を選択して 」 キ ーを押す
- 2 次の画面が表示されたら N キーを押して → キーを押す

	MS-DOS 領域を作成	
現在の装置: 1		
MS-DOS 領域に使用 (Y/N)	fできる最大サイズを割り当てますか ?[Y]	
FDISK オプション	に戻るには ESC キーを押してください	

3

「MS-DOS領域を作ります...?」と表示されたら、確保したい領域のサイズを、Mバ 小単位または全体に対する割合で入力し、 (シー) キーを押す

例 3000Mバイトのハードディスクに、1800Mバイトの領域を確保する場合

バイト単位で入力した場合	「1800」と入力
全体に対する割合で入力した場合	「60%」と入力

購入時の状態に戻すために必要な領域のサイズは、「再セットアップする前 に、の「必要なハードディスクの空き容量」をご覧になり、確保してください。

手順3を繰り返して、複数の領域を確保します。



- □ 領域の作成が終了した後、[ESC] キーを押す 「FDISKオプション の画面が表示されます。
- **5** ESC キーを押す

本機の電源スイッチを押して電源を切る 本機を再起動した後、「ドライブをフォーマットする」へ進んでください。

## ドライブをフォーマットする.....

新しく確保しなおした領域は、利用するためにフォーマットの作業が必要です。 なお、Windows 98をインストールする領域については、セットアップ中にフォーマットを 行います。



フォーマットの前に前述のFDISKコマンドによって、フォーマットする領域の 状態を「アクティブ」。BOOTを「可」にしてください。

```
「Windows 98 CD-ROMセットアップ起動ディスク をフロッピーディスクドラ
イブにセット
本機の電源スイッチを押して電源を入れる
コマンドプロンプトから、以下のように入力する
Z: [귀
CD WIN98N (네
FORMATコマンドが使えるようになります。
コマンドプロンプトから、以下のように入力する
ここでは、Bドライブをフォーマットすることにします。
FORMAT B: [네
```



「フォーマットしますか」と表示されるので、 Y キーを押す フォーマットが開始されます。





フォーマットが30分以上かかる場合は、ハードディスクなどの異常が考えられます。その際は、本機の電源スイッチを押して電源を切り、最初からやり直してください。

フォーマット完了後に「ボリュームラベルを入力してください」と表示されるので、 Windows 98をインストールする場合は「WINDOWS 98」と入力し、「早 ーを押す





ボリュームラベルは再セットアップ後でも入力できますので、必要がない場合は、「リキーを押してください。 なお、工場出荷時のボリュームラベルは「WINDOWS 98」です。

新しく領域を作成しなおしたドライブがある場合は、手順4~6をフォーマットする領域を変更しながら繰り返してフォーマットしてください。



「領域を削除する」で領域の削除をしなかったドライブについては、フォーマットの作業は必要ありません。領域の削除をしなかったドライブをフォーマットすると、フォーマットしたドライブにデータが失われるので注意してください。

次の画面が表示されるので、本機の電源スイッチを押して電源を切る



「Windows 98 CD-ROMセットアップ起動ディスク」をフロッピーディスクドラ イブから取り出す

## Part 5

# 他の0Sを利用する



## Windows NT 4.0を利用する

本機で、Windows NT Workstation 4.0\*、Windows NT Server 4.0\*\*(以下、 Windows NT 4.0 を利用する場合、通常のセットアップ以外にいくつかのドライバを アップデートする必要があります。

ここではWindows NTが利用できるまでの手順について説明します。

\* Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0

\*\*Microsoft $_{\ensuremath{\circledast}}$  Windows NT $_{\ensuremath{\otimes}}$  Server Network Operating System Version 4.0

### Windows NT 4.0の利用 .....

本機でWindows NT 4.0をセットアップするには、次の手順で行います。

1. Windows NT 4.0のセットアップ

- ・「Windows NT Setup Disk1 <置換版>」を作成する
- ・Windows NT 4.0セットアップディスクを作成する
- ・ Windows NT 4.0をセットアップする前の確認事項
- ・Windows NT 4.0をセットアップする
- ・ドライバをアップデートする
- 2. 内蔵アクセラレータドライバのアップデート
- 3. Windows NT 4.0アップデートサービス Service Pack 3の利用



- 「1.Windows NT 4.0のセットアップ」がすべて終了してから「2.内蔵アク セラレータドライバのアップデート」以降を行ってください。
- 本機に添付されているドライバは、本機専用ドライバです。他の機種では使用しないでください。
- ・ドライバのインストールを行う場合は、Administrator権限を持ったユーザ ーで行ってください。

セットアップでは、次のものが必要です。あらかじめ用意しておいてください。

- ・バックアップCD-ROM(本機添付)
- ・1.44 Mバイトフォーマット済みのフロッピーディスク:3枚
   (注意:フォーマット時にシステムの転送は行わないでください。)
   これらフロッピーディスクには、それぞれ次のラベルを貼っておいてください。
   「Windows NT Setup Disk1 < 置換版 > 」
   「Windows NT 4.0アップデートディスク」
   「システム修復ディスク(注意:セットアップ後に手動で作成してください。)
- 1.Windows NT 4.0のセットアップ
  - 「Windows NT Setup Disk1 < 置換版 > 」の複製を作成する

「Windows NT Setup Disk1」に対して、アップグレードを行います。アップグレード により、フロッピ - ディスクの内容を書き換えますので、必ず複製を作成し、複製に対して アップグレードを行ってください。オリジナルの「Windows NT Setup Disk1」は大 切に保存しておいてください。

- 【スタ-トボタン [プログラム] [MS-DOS プロンプト をクリック MS-DOS プロンプトが起動します。
- 2 DISKCOPYコマンドを使って Windows NT Setup Disk1」の複製を作成する

複製はあらかじめ用意した「Windows NT Setup Disk1 <置換版 > 」に作成 します。DISKCOPYコマンドの使用方法はコマンドプロンプトで次のように入力 して、確認してください。

DISKCOPY /?

Windows NT 4.0セットアップディスクを作成する

ここでは、「Windows NT Setup Disk1 < 置換版 > 」のアップグレードと、 「Windows NT 4.0アップデートディスク」の作成を行います。

「バックアップCD-ROM」には Windows NT 4.0のドライバが保存されています。これらのドライバをフロッピーディスクにコピーします。

ここでは、CD-ROMドライブをD、フロッピーディスクドライブをCとして説明します。実際と異なる場合は、読みかえてください。

1 用意しておいた「バックアップCD-ROM」をCD-ROMドライブに、「Windows NT Setup Disk1 < 置換版 > たフロッピーディスクドライブにセットする 5

- MS-DOSプロンプトから次のように入力する
  - D: 伊 CD ¥NT40 伊
- 3 カレントディレクトリが「NT40」であることを確認し、MS-DOSプロンプトから次のように入力する フロッピーディスクのドライブ名にコロン「:」は付けないでください。

CDNTUP C 🔊

 
 画面の表示に従って、ファイルをコピーする 途中で「Windows NT 4.0アップデートディスク」と入れ換えるよう指示があります。

作成したフロッピーディスクは、今後 Windows NT 4.0をセットアップする際必要とな りますので、大切に保管してください。

Windows NT 4.0をセットアップする前の確認事項

Windows NT 4.0セットアップを行う前に、次の確認を行ってください。

・本機の設定について

セキュリティの設定はすべて「使用しない」、または「設定しない」にしてセットアップを行ってください。セキュリティの設定については、『ステップアップガイド』を参照してください。

・オプションボードについて

プラグ&プレイ対応ボードをお使いの場合、ボードを取り出して設定を従来互換モードに 設定し、Windows NTのセットアップ実行後、実装してください。設定方法は、各ボード 添付のマニュアルを参照してください。

Windows NT 4.0をセットアップする

本機にWindows NT 4.0を新規に組み込む場合について説明します。

セットアップを行う前に「Windows NT 4.0アップデートディスク」のルートディレクトリにある「README.TXT」、「NECREAD.TXT」をご覧ください。

ここではセットアップブートディスクを使用したセットアップ手順について説明します。



「Windows NT Setup Disk1 <置換版>」をフロッピーディスクドライブにセットし、本機の電源を入れる 「Windows NT CD-ROM Disc1 をCD-ROMドライブにセットします。



😗 容量記憶装置検出の画面で、[ S=検出のスキップ を選択する

ここで、[Enter=続行を選択しないでください。自動検出を行うと以下で行う ドライバの組み込みができなくなります。

- 4 「セットアップは、コンピュータに次の大容量記憶装置を検出しました: <なし>」と 表示されるので、[S=追加デバイスの指定 を選択する
- 5 「Windows NTで使用する、追加のSCSIアダプタ、CD-ROMドライブ、または特殊なディスクコントローラを指定します」と表示されるので、リスト表示されている中から、その他(ハードウェアメーカー提供のディスクが必要)を選択する
- 「次のラベルの付いたディスクをドライブA:に挿入してください。
   ハードウェアメーカー提供のサポートディスク」と表示されるので、作成した
   「Windows NT 4.0アップデートディスク」をフロッピーディスクドライブにセットし、
   (辺)キーを押す
- 7 「ハードウェアメーカーから提供された SCSIアダプタ、CD-ROMドライブ、または 特殊なディスクコントローラをインストールします。」と表示されるので、リストから [IDE CD-ROM (ATAPL) IDE Controller を選択する
- マットアップはコンピュータに次の大容量記憶装置を検出しました: < IDE CD-ROM (ATAPI)/IDEController > 」と表示されるので、
- 回面の指示にしたがい、セットアップを続ける テキストセットアップ中「Windows NT Setup Boot Disk をセットするように指示されるので、作成した「Windows NT Setup Disk1 <置換版 > をフロッピ ーディスクドライブにセットし、Enterキーを押します。また領域確保後に「次のラベ ルの付いたディスクをドライブA:に挿入して下さい。Windows NT 4.0アップ デートディスク」と表示されますので、作成した「Windows NT 4.0アップデート ディスクをフロッピーディスクドライブにセットし、「型キーを押します。
- 1 画面の指示にしたがい、セットアップを続ける
- **11** テキストセットアップのセットアップが終了したら、フロッピーディスクドライブからセットアップディスクを取り出し、本機を再起動する
- 12 再起動するとグラフィックセットアップが開始される ここでは、次の設定を行います。

**P**art t

5

他のOSを利用する



Windows NT Server 4.0とWindows NT Workstation 4.0とでは 設定 内容が異なります。

- ・セットアップ方法の選択
- ・個人情報の入力
- ・サーバーの種類の選択(Windows NT Server 4.0のみ)
- ・管理者アカウントのパスワードの設定
- ・システム修復ディスク作成の選択
- ・インストールするファイルの選択
- 13 本体内蔵LANインターフェイスを使用したネットワークのインストールを行うので、[ネットワークに参加する]の[ネットワークに接続]をクリックし、[次へ]ボタンをクリック
- **14** Windows NT Server 4.0の場合、Internet Information Serverのインスールするかどうかを選択し、[次へ]ボタンをクリック
- 15 ネットワークアダプタの検出画面が表示されるので、[一覧から選択 をクリック
- ↑ ネットワークアダプタの選択画面で、[ ディスク使用 をクリック
- **17** フロッピーディスクの挿入画面が表示されるので、「Windows NT 4.0アップデー トディスク をフロッピーディスクドライブにセットして、次のように入力する ここでは、フロッピーディスクドライブをCドライブとして説明します。実際の環境と 異なる場合は読み替えてください。

C:¥INTEL

- **18** 0EMオプションの選択画面が表示されるので、リストから「NEC PC-9821X-B06(互換) PCI Adapter を選択し、[0K ボタンをクリック
- **19** ネットワークアダプタの検出画面に、「NEC PC-9821X-B06(互換) PCI Adapter」が表示されていることを確認し、[次へ]ボタンをクリック
- 20 次のネットワークアダプタの構成を行います。
  - ・ネットワークプロトコルの選択
  - ・ネットワークサービスの選択
  - ・ネットワークの設定の確認
  - ・ネットワークに必要なファイルのコピー
  - ・NEC PC-9821X-B06(互換) PCI Adapterの設定
  - ・ネットワークバインドの調整
  - ・ワークグループまたはドメインの参加

これで、グラフィックのセットアップの本体内蔵LANインターフェイスを組み込む手順が終 了しました。後は画面の指示に従って設定を行ってください。Windows NT 4.0のセ ットアップが終了したら、「ドライバをアップデートする」に進んでください。 ドライバをアップデートする

Windows NT 4.0のドライバをアップデートします。「Windows NT 4.0アップデート ディスク」には、本機の機能を有効に利用するための最新のドライバが保存されていま す。ここでは、アップデート手順について説明します。

- 【 [スタート」ボタン [プログラム][コマンドプロンプトをクリック]
- 2 「Windows NT 4.0アップデートディスク」をフロッピーディスクドライブにセットする
- 3 Windows NTのコマンドプロンプトより、次のように入力する ここでは、フロッピーディスクドライブをCとして説明します。実際の環境と異なる場合は読み替えてください。

C:년 CD ¥년

カレントが、Cドライブのルートディレクトリであることを確認して、次のようこ入力します。

UPDATE



次の画面が表示されるので、[ OK ]ボタンをクリック アップデートを開始します。

本機対応	Windows NT 4.0 アップテャート
	本機対応 Windows NT 4.0 アップデートへようこそ。
~	初めてこのアップデートを行う方は、アップデート前に必ず本体添付マ ニュアルをよくお読みください。
	Windows NT 4.0 アップデートを直ちにコンビュータニ適用する場合は、 [OK] ホタンを別ックするか Enter キーを押してください。 Windows NT 4.0 アップデートを適用せずに終了する場合は、 [キャンセル] ホタンを夘ックするか Eso キーを押してください。
	<u> </u>

5

コピー終了後、次の画面が表示されたら、[Windows NTに戻る ボタンをクリック

本機対応 Windows NT 4.0 アップテャート 🛛 🔀
Windows NT 4.0 アップデートが適用されました。 [Windows NT IC戻る] ホタンを切ったして Windows NT システムに戻ってください。 変更内容を有効にするには、トライフカンらフロッピーディスクを取り出し、コンピュータを 再起動してください。
Windows NT に戻る(W)

113

フロッピーディスクドライブより Windows NT 4.0アップデートディスク」を取り出す

### 7 [スタート ボタン [シャットダウン をクリックし、[コンピュータを再起動する を クリックし、[はい ボタンをクリック Windows NTが再起動します。

Windows NT 4.0が再起動したら、続けて「2.内蔵アクセラレータドライバのアップデート」に進んでください。



- ・Windows NT 4.0セットアッププログラムは、セットアップした領域を「自動 起動」に設定します。セットアップした領域以外から起動する場合は、TABを 押しながら本機の電源を入れるど固定ディスク起動メニュープログラム」 が起動します。メニューより起動する領域を選択してください。
- Windows NT 4.0は、デフォルトでは自動電源断機能が有効になっていません。自動電源断機能を有効にする場合は、「Windows NT 4.0アップデートディスク」のルートディレクトリにある「README.TXT」をご覧になり、設定してください。

### 2.内蔵アクセラレータドライバのアップデート

「Windows NT 4.0アップデートディスク」には、内蔵アクセラレータの最新ドライバが 保存されています。ここでは、内蔵アクセラレータドライバのアップデート手順について説 明します。

「Windows NT 4.0アップデートディスク」に含まれている内蔵アクセラレータドライバを 使って、以下の画面モードが利用できます。

解像度	表示色	
640×480	256色、65,536色、TrueColor	
800×600	256色、65,536色、TrueColor	
1024 ×768	256色、65,536色	
1280 × 1024	256色	

設定は次の手順で行います。

ここでは、フロッピーディスクドライブをCとして説明します。実際と異なる場合は、読みかえてください。



- 2 [画面 アイコンをダブルクリック
- 了 [ディスプレイの設定 タブをクリック
- Ⅰ [ディスプレイの種類]ボタンをクリック

- 5 [変更 ボタンをクリック
- **6** [ディスク使用 )ボタンをクリック ドライバの入ったフロッピーディスクをセットするように指示されます。
- 7 「Windows NT 4.0 アップデート ディスク をフロッピーディスクドライブにセット し、フロッピーディスクを入れたドライブのTRIDENTディレクドJを指定して、[ 0K ] ボタンをクリック

C:¥TRIDENT

- [ディスプレイ]Jストボックスから、「内蔵アクセラレータ(Trident Microsystems社 製TGU19682)」を選択する
- [OK ボタンをクリック]
- ▲ ドライバ組み込み結果が表示されるので、[ OK 」ボタンをクリック
- 11 [閉じる ボタンをクリック
- 12 [閉じる ボタンをクリック
- **13**「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。今すぐ 再起動しますか?」というメッセージが表示されるので、フロッピーディスクドライブよ リ「Windows NT 4.0 アップデート ディスク」を取り出し、[はい」ボタンをクリック

Windows NT 4.0が再起動したら、続けて 3.Windows NT 4.0アップデート サービス Service Pack 3の利用」に進んでください。

### 3.Windows NT 4.0アップデートサービス Service Pack 3の利用

本機でMicrosoft® Windows NT® 4.0アップデート サービス Service Pack 3」 (以下Service Pack 3 を適用する場合、必ず次の手順で行ってください。

- Service Pack 3インストール時に、ドライバのアップデートを必ず行って ください。
- Service Pack 3をインストールする前にService Pack 3の「README.TXT を参照してください。

Service Pack 3をインストールします。

Part **15** 

他のOSを利用する



Service Pack 3セットアップ時に、「このファイルはOEMによってインスト ールされたファイルです。Service Packのバージョンのファイルでシステム 上にあるバージョンを上書きしますか?」と表示された場合は、[いいえ」を選択 してください。

- 2 Service Pack 3ファイルのコピーが終了すると「Windows NT 4.0は正常に 更新されました。」と表示されます。
- 3 ここでは、[OK ボタンをクリックしないでください。 [スタート ひニューから プログラム] [コマンドプロンプト をクリックします。
- 4 Windows NTのコマンドプロンプトより、次のように入力します。 ここでは、フロッピーディスクドライブをCとして説明します。 実際と異なる場合は、読み替えてください。

C:(ଅ CD¥UPSP3(관)

カレントがCドライブのUPSP3ディレクトリであることを確認して、次のように入力し ます。

NTUPDATE 🖓



5 アップデート終了後、コマンドプロンプトを終了します。

[Windows NT Service Pack セットアップ )のダイアログボックスの[OK )ボタ ンをクリックして、Windows NTを再起動させます。



Microsoft® Windows NT® 4.0アップデート サービス「Service Pack 3」につい ての詳しい内容は、「はじめに」の「ソフトウェアの最新情報のお知らせ」に 記載されている各種サービスにより提供しています。



•

. ė C  本機を利用するための補足情報です。

固定ディスク起動メニューの利用 FAT32ファイルシステムの利用 索引

## 固定ディスク起動メニューの利用

ここでは、本機で固定ディスク起動メニューを利用する上での必要事項について説明し ます。

### 固定ディスク起動メニュー

[固定ディスク起動メニュー ]では、ハードディスクのどの領域 ドライブ から、システムを 起動するかを選択することができます。

[固定ディスク起動メニュー を表示させるには、キーボードの[TAB]キーを押しながら、電源を入れてください。このとき、「ピピピ...」と音が鳴るまで[TAB]キーを押したままにしてください。

ただし、固定ディスク起動メニューを表示させてシステムを起動するには、次のうち、どれか1つを満たしている必要があります。

- ・ B00T可になっている領域が複数ある場合
- ・本機内蔵ハードディスク以外に別売のハードディスクを増設した場合

本機はご購入時には1つの領域が確保されていますので、「TAB」キーを押しながら電源 を入れても、固定ディスク起動メニューは表示されず、内蔵ハードディスクのWindows 98が起動します。

B00Tを変更するには、[FDISKオプション]の機能を利用します。[FDISKオプション]は、MS-D0Sプロンプトの画面から、

FDISK 🚚

と入力してください。表示された画面で、[2. 状態を変更 を選択してください。あとは画面の指示に従って、領域のB00Tを「可」にしてください。



固定ディスク起動メニュー

[固定ディスク起動メニュー ]の画面では、どのディスク装置のどの領域 ドライブ からシ ステムを起動するかを選択できます。

画面左には、ディスク装置名が表示されており、同じインターフェイスごとに1から順に装置番号が付けられます。また、画面右には下線が付いた装置内の領域名が表示されています。

システムを起動するには、↑、↓、←、→キーで起動したい装置、領域に反転表示をあわせて、④キーを押します。

なお、[FDISKオプション ]の[4. 領域情報を表示 ]で「BOOT」が「不可」になっている 領域や、「状態」が「スリープ」になっている領域は選択できません。

自動起動の設定

[固定ディスク起動メニュー を表示しないで、あらかじめ指定したハードディスクの指定 した領域から自動起動することができます。自動起動の設定を行うと、次回起動時から は固定ディスク起動メニューは表示されません。

自動起動の設定を行うには、次のように操作してください。

- 【固定ディスク起動メニュー」が表示されているときに、自動起動したい領域を反転表示させ、「+1」キーを押す
- 2 「選択した領域を自動起動に設定しますか(Y/N ?」というメッセージが表示されるので、 Y キーを押す N キーを押すと自動起動の設定は行われません。
- 次のように表示されて、自動起動に設定される
  - ・領域名の横 「\*」
  - ・ 画面右下 「\*は自動起動に設定された領域です」

なお、複数の領域を自動起動に設定することもできますが、この場合の優先順位は次の ようになり、最初に認識された領域から起動します。

内蔵固定ディスク(装置番号小大)

SCSI固定ディスク(装置番号小大)

光ディスク(装置番号小大)

自動起動の変更/解除

自動起動の変更/解除は、固定ディスク起動メニューで行います。 自動起動に設定されていると、固定ディスク起動メニューは表示されませんので、次の ような操作で固定ディスク起動メニューを表示させます。

そ
ま
置の
起
動
時
に
キ
ー
ボ
ー
ド
の
て
AB
キ
ー
を
押
し
続
け
る

2 「ピピピ…」という音が鳴ってから[TAB]キーから指を離す

3 固定ディスク起動メニューが表示されたら、次のように操作する

- ・ 変更する場合
   f+1 キーを押して自動起動を解除した後、「自動起動の設定」と同じ操作を行ってください。
- ・解除する場合 自動起動を解除したい領域名を反転表示させ、「+-1」キーを押します。

## FAT32ファイルシステムの利用

本機にインストールされているWindows 98では、FAT32ファイルシステムをサポートしています。ここでは、FAT32ファイルシステムの概要や設定方法について説明します。

FAT(File Allocation Table)ファイルシステム(以降、FAT)は、MS-DOSや従来のWindowsで使用されている基本的なファイルシステムです。 FAT32ファイルシステム(以降、FAT32)はFATを拡張したファイルシステムで、次のような特長があります。

 ・従来のFATでは、2GBの容量を超える領域を扱えませんでしたが、FAT32では理 論上2TB(2,047GB)の容量まで扱えます。



FAT32に関する情報は、[Windows フォルダのgeneral.txtにも記載されてい ます。

FAT32を使用する場合の注意

本機の出荷時のハードディスクの領域はFATです。通常は、FATのまま使用してください。FAT32を使用する場合は、次の注意事項を確認してご使用ください。

- 本機に添付されているアプリケーションやご使用になっているソフトウェアによっては 正しく動作しない場合があります。
  - スキャンディスク、バックアップ、およびデフラグなど、[システムツール」グループに あるディスク管理ツールはFAT32に対応しています。ただし、[ドライブスペース] でFAT32のドライブを圧縮できません。
- ・FAT32は、本機にインストールされているWindows 98でのみ使用できます。

FAT32の設定方法

FAT32を利用するには、FDISKコマンドを使用して領域を作成、またはドライブコン バータ(FAT32)を使用して領域を変換します。

FDISKコマンドは、ハードディスクに領域を作成したり、削除したりするプログラムです。

[ドライブコンバータ(FAT32)]は、FATファイルシステムのハードディスクをFAT32ファ イルシステムに変換します。



領域を削除すると、お客様がセットアップしたシステムやアプリケーション、デ ータファイルもすべて削除されます。大切なデータやファイルがある場合に は、必ずフロッピーディスクなどの別の媒体に保存してください。

FDISKコマンドでの設定

[FDISKオプション]は、Windows 98を起動して、MS-DOSプロンプトの画面 から次のように入力します。

FDISK 🖉

ハードディスクの容量が512MBを超える場合は、大容量ディスクのサポートを行う かどうかを確認する、次のようなメッセージが表示されます。



Y を選択した後、領域(ただし、512MBを超える領域)を作成すると、その領域 にはFAT32が適用されます。

FDISKコマンドで領域を作成した後、Windows 98を再起動してドライブをフォーマットすると、領域が利用できるようになります。

[ドライブコンバータ(FAT32)]での設定

既にあるドライブをFAT32ファイルシステムに変換する手順は、『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』または、Windows 98のヘルプの中にあるオンライン形式の「Microsoft Windows 98ファーストステップガイド」の「第5章 高度な機能」の「FAT32ファイルシステムを使う」をご覧ください。



### 記号

98Timer
ADDDRVコマンド 46,56
AVI
С
CD プレーヤ
DISKCOPYコマンド 109
DMITOOL
FDISKオプション
G
general.txt
J
Μ
Masty Data Backup

MPEG動画12 MPEG動画を再生する12
N
NECAI FEP
pcANYWHERE32 EX
R
README.TXT 110,115
Service Pack 3115,116
U
USKCGMコマンド 69,70
V
VirusScan
W
Windows 98 CD-ROM79,81 Windows 98 を再セットアップする81 Windows NT 4.0を利用する108 Windows NT Setup Disk1<置換版>
WWW Extension
あ
アプリケーションを削除する
・ ウイルスの検査

### 123

•

え	オ。
英語モードフォントへの切り替え	ネットワークコンピュータ ネットワークドライブ ネットワークプリンタ ネットワークプロトコルの設定
オーディオ ( D 2346	
オーディオCD/ビデオCDの再生順序を指定する 9 オーディオCDを聴く 4 <b>か</b>	パスワード バックアップ バックアップ CD - R O M パワーオンパスワード
海外ゲーム対応ユーティリティの削除60 カスタムでセットアップする70 カラオケC D2.6.7.8	ハートディスク ハードディスクの初期化 … <b>て</b>
固定ディスク起動メニュー	標準 ビッド ック ビデオ C D ビデオ C D(カラオケCD) を見
コンヒューダワイルスに備える19	12
C 再セットアップする 81 削除したアプリケーションを再追加する 68	フォトCD フォトCDを見る フォトCDポートフォリオ プレイバックコントロール(機能 ブートウイルス プロダクトの選択
システムビューア	
目動印にワイルスを削除する       21         自動電源OFFタイマー       18         自動電源ONタイマー       14,17         自動電源ONリング       17         手動でウイルスを削除する       21	ボーカル音声め
ġ	メディアプレーヤー
スキャンワクチン 19 スキャンディスク 30,78 スクリーンセーバ 7	ムースフルパックを削除する ユースフルパックを追加する ユースフルパックユーティリテ
	<u> </u>
τ	予約を解除する
ディスクドライブ	リモート電源制御リモートビューア
ドライブコンバータ(FAT32)121,122	
こ	
ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	

ね
トワークコンピュータ
は
スワード
<u> </u>
<sup>■</sup> セットアップ85 <sup>•</sup> オCD2,3,6,8,13 <sup>•</sup> オCD(カラオケCD) を見る6
131
FC D
ほ
- カル音声
め
ディアプレーヤー
<u>ゆ</u>
- スフルパックを削除する62 - スフルパックを追加する70 - スフルパックユーティリティ70
よ
りを解除する9
נו
ート電源制御



**ソフトウェア操作ガイド** 98MATE (Windows 98インストール) 初版 1998年7月 NEC P





808-882706-015-A